

郡 山 女 子 大 学  
郡山女子大学短期大学部

平 成 29 年 度

# 研 究 業 績 及 び 社 会 活 動

平成29年4月 ～ 平成30年3月

研究紀要編集委員会

【研究業績】（著書・論文・発表）

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
石堂常世	1. フランスの大学 寸描（1）	単著	2017年4月	福島日仏協会『福島日仏協会会報』 <i>Ile de Bonheur</i> 78号	<p>2016年9月に福島日仏協会で行った講演「日仏交流の変遷を語る」を聴いた当会幹部たちから、そこで話したフランスの大学について詳しく知りたいという要望があり、それに応じるかたちでフランスの大学の歴史、展開、改革、課題、現況をまとめた小論。</p> <p>寸描とはいえ、資料を確認しつつフランス高等教育史を押さえたので、2回にわたる論文掲載となった。</p> <p>寸描（1）は、フランスの大学の発祥と形態、ソルボンヌとは何か、象牙の塔とフランス革命期におけるグランドゼコールの創設。寸描（2）は、戦後から今日におけるグランドゼコールの増加と躍進と、大学の凋落、フランス型エリート養成の実態と、これからのフランスの高等教育問題を論じた。</p> <p>尚、2017年8月22日の郡山稲門会卓話の会（早稲田大学卒業者同窓会）において、この一部の内容を講演した（於：ホテルプリシード）。</p>
	2. フランスの大学 寸描（2）	単著	2017年6月	福島日仏協会『福島日仏協会会報』 <i>Ile de Bonheur</i> 79号	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
武井玲子	(その他) 1. 生活関連品やモノのリスクマネジメント研究	共著	平成29年5月	(一社)日本家政学会第68回大会(於:奈良女子大学)研究発要旨集、p.103	生活関連品やモノのリスクを低減化するためには、ライフサイクルアセスメントの考え方を採用した暴露評価に続く、リスクアセスメント手法でリスクを定性定量し、リスクコミュニケーションを行うことが有効であることをいくつかの事例より提言した。共同発表者:大泉由美、鍋山友子
山形敏明	(学術論文) 1. 「過疎高齢化と雪対策」	単著	2017年4月	日本雪工学会誌 Vol.33No. 2, pp 1-2	近年の雪害被害における過疎高齢化がもたらす影響の深刻化について、2017年1月～2月に発生した福島県西会津町の事故調査結果を基に、これからの雪対策の考え方について論じている。
	(口頭発表) 1. 「雪害リスクを生活情報として提供するための研究」	共著	2017年5月	日本雪水学会北海道支部発表会、要旨集p 6.	雪害における自助による対策を促進するため、雪害事故の発生要因を解明し、住民に直接作用する『雪害指数』を構築することを試みた。
	2. 「福島県における雪害対策に関する基礎的研究—会津地方市町村の雪害対策状況について—」	共著	2017年9月	雪氷研究大会(2017・十日町)、講演要旨集p 3.	福島県会津地方市町村の雪害対策状況について、防災ポテンシャルの観点から市町村の雪害対策状況を数値化し、その位置づけを明らかにした。
	3. 「雪害リスクを生活情報として提供するための研究」	共著	2017年9月	雪氷研究大会(2017・十日町)、講演要旨集p 3.	北海道における自助による雪害対策促進ため、雪害事故発生当日の要因を解明し、重回帰分析を用いて試算した『雪害指数』を明らかにした。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
安田純子	(その他) 1. 「暮らしの1ページ」『ワーク・ライフ・バランスの推進』	単著	2017. 7. 22	郡山女子大学	郡山女子大学家政学部人間生活学科主催、市民講座「暮らしの1ページ」にてワーク・ライフ・バランスについて講演した。
難波めぐみ	(その他) 【口頭発表】 1. 東北の学生の寝衣に関する実態調査－性差の検討－	共著	平成29年5月	(一社) 日本家政学会第69回大会 (於：奈良女子大学)	学生の寝衣の選択や要求性能、寝衣での行動には性差がある可能性が示唆された。西山加奈(仙台医療福祉専門学校)、水野一枝・水野康(東北福祉大学)、久慈るみ子(尚絅学院大学)、井上美紀(東北生活文化大学)
	2. 東北地域の学生の寝衣に関する実態調査－睡眠感と寝衣の関係－	共著	平成29年10月	日本睡眠学会第42回定期学術集会(於：パシフィコ横浜)	寝衣での行動と睡眠感の関係を検討し、寝衣で一日過ごす行動が、睡眠感に関連している可能性が示唆された。西山加奈(仙台医療福祉専門学校)、水野一枝・水野康(東北福祉大学)、久慈るみ子(尚絅学院大学)、井上美紀(東北生活文化大学)
	3. 東北地域における冬期の学生の寝衣に関する実態調査	共著	平成29年11月	日本衣服学会年次大会(於：東北福祉大学)	東北地域の学生の寝衣と暖房器具の使用により、就寝時の全着用枚数に個人差が大きい可能性が示唆された。西山加奈(仙台医療福祉専門学校)、水野一枝(東北福祉大学)、久慈るみ子(尚絅学院大学)、井上美紀(東北生活文化大学)、前田亜紀子(群馬大学)、須田理恵(文化学園大学)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
石原正道	(学術論文)				
	1. Momentum distribution and correlation due to mass difference caused by power-like distribution	単著	2017年6月	International Journal of Modern Physics E 26 (2017) 1750039 (11pages)	ツァリス分布下において、質量差に起因する運動量分布および相関を明らかにした。
	2. Transverse momentum fluctuation under the Tsallis distribution at high energies	単著	2017年11月	International Journal of Modern Physics E 26 (2017) 1750071 (14pages)	運動量分布がツァリス分布により記述される場合において、双対性を仮定して粒子相関を計算した。
	3. Event-by-event mean $p_T$ fluctuations and transverse size of color flux tube generated in $p$ - $p$ collisions at $\sqrt{s}=0.90$ TeV	共著	2018年1月	Journal of Physics G: Nuclear and Particle Physics 45 (2018) 015104 (13pp)	幾何学的スケーリング仮説に基づいたモデルを提案し、カラーフラックスチューブの横方向サイズを得た。
	4. 標準的なノート型PCとキーボード付きタブレット型PCを用いた場合のタイピング能力における差異～教職課程必修の情報処理系授業を一例に～	共著	2017年3月	郡山女子大学紀要 第54集	ノートPCを利用した場合とタブレットPCを利用した場合のタイピングスキル獲得における差を調べた。
(口頭発表)					
1. 飽和描像にもとづく荷電粒子の事象毎横運動量揺らぎの解析とカラーフラックスチューブのサイズ評価	共著(発表者は共同研究者)	2017年9月	日本物理学会	幾何学スケーリングに基づくモデルを導入し、陽子・陽子衝突における荷電粒子横運動量揺らぎを議論した。	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
熊田伸子	(学術論文) 1. 地域包括ケアシステム構築と推進へ向けて—住まいからのアプローチの必要性—	単著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	高齢者の住まいに関するサービスには、介護保険制度の住宅改修があるが、介護保険支給対象となる住宅改修の種類や限度額があるため、十分ではない。調査結果を基に、住まいへのアプローチを試みた。
	(その他) 「学会発表」 1. 地域包括ケアシステムの構築に向けた住まいへのアプローチ—地方都市がもつ課題から—	単著	2017年10月22日	日本社会福祉学会第65回秋季大会 (於：首都大学東京)	地域包括ケアシステムでは、住まいが中心にあり、住み慣れた地域社会で生活を継続していくためには、その住まいでの生活の継続が可能かどうかという視点が重要である。介護事業者へのアンケート調査により、課題を分析した。
堀琴美	1. 女子大学生のインターネット依存と精神健康状態—ゲームプレイヤーと非ゲーム長時間利用者の比較から—	単著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	インターネット依存と関連のある身体・精神症状を抽出した。またゲームやSNS依存の特徴を分析比較した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
廣野正子	(学術論文) 1. 特別養護老人ホーム介護職員のストレスと仕事満足度－Sense of Coherenceの視点に注目した質的研究－	単著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	特別養護老人ホームに勤務する介護職員を対象に、ストレスと仕事満足度にストレス耐性としてのSense of Coherence (SOC) がどのように関わっているのかをトライアングレーションの手法により検証した。その結果、仕事満足度を規定する要因としてのSOCを示すことができた。さらにSOCを高める要因について質的研究法を用いて明らかにした。
D. ホーナー	1. Active Learning:Impact on Disciplines	Daniel Orville Horner	Research 2017-2018	Learner's Edge (publication) in Affiliation with St. Thomas University's Graduate School (Minnesota,USA)	1. The purpose of the first research theme was to determine the effects of active learning across all disciplines in the university curriculum. The qualitative research methods concluded, among other things, that levels of cognition and retention are significantly increased by active learning. Specifically, an increase of 75% of the conceptual understanding of the disciplines occurred. Therefore, active learning becomes an important predictor of students' overall success at university.

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. Philosophy and Current Practices of ESL				2. The second area (subarea) of research was on the historical and contemporary philosophies of acquiring English as a second language (ESL). Research showed that Content and Language Integrated Learning (CLIL) and technology such as the auto didactic electronic media must be taken into account when teaching contemporary learners.
長田城治	(学術論文) 1. 占領下日本における部隊配備と占領軍家族住宅の様相	共著	平成29年9月	日本建築学会計画系論文集	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、占領下日本各地のD.H.の分布とその推移について占領軍の配備や政策的動向との関係から考察した。
	(口頭発表) 1. 福島県国見町における石工の変遷と石蔵の工法	単著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	組合史料を基に国見町の石工の変遷を明らかにすると共に、古図面より国見町の石蔵に関する建築技術の変化を明らかにした。
	2. 占領下福岡における施設接収と米軍ハウス - 占領下日本の都市・住宅に関する研究 その12	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、福岡県における占領軍の住宅や施設の接収過程と米軍ハウスの実態を報告した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	3. 占領下大津における旧軍関連施設の土地接収過程 - 占領下日本の都市・住宅に関する研究 その13	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、滋賀県大津市の旧軍関連施設の土地接収過程を関係資料から検討した。
	4. 占領下滋賀における保養施設の接収と改修の実態 - 占領下日本の都市・住宅に関する研究 その14	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	占領下日本の都市・住宅に関する研究の一つとして、滋賀県における保養施設の接収過程と改修の実態を報告した。
	5. 長野県常盤村中部耕地整理組合文書にみる開墾地移住奨励制度の運用実態 - 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その3	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、長野県常盤村中部耕地整理組合の組合文書から開墾地移住制度の実態を検討し、移住家屋の年代傾向を分析した。
	6. 長野県常盤村中部耕地整理組合文書における開墾地移住家屋の平面とその変容 - 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その4	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、長野県常盤村中部耕地整理組合の組合文書から開墾地移住家屋の規模や平面などの特徴を分析し、形式変化の要因を明らかにした。
	7. 福島県矢吹原開墾地の移住家屋と福島県立修練農場の教育 - 大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究 その5	共著	平成29年8月	日本建築学会大会学術講演梗概集(建築歴史・意匠)	大正・昭和戦前期の開墾地移住家屋に関する研究の一つとして、福島県矢吹原開墾地を対象に移住家屋の特徴と福島県立修練農場との関係を考察した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	「報告書」 1. 平成27・28年度国見町歴史まちづくりシンポジウム記録集	共著	平成29年4月	国見町歴史まちづくりフォーラム	国見お宝再発見『石工フェスin石蔵』のイベント内で講演した「国見石ってなんだろう？国見石の採掘の歴史」の内容について収録した。
	2. 国見町における石造建造物・石造技術調査に関する報告書	単著	平成30年3月	国見町	国見製菓の石蔵3棟に関する所見および図面を収録し、昭和期以降の石造郷蔵の特徴をまとめた。また、国見町の石造建築技術について古図面を用いて建築工程や技法の特徴を明らかにした。
	3. 国登録有形文化財「旧高畠駅舎群」建物測量・調査に関する報告書	単著	平成30年3月	高畠町	国登録有形文化財「旧高畠駅舎群」4棟の建物について実測調査を行い、建物ごとに図面類製作し、所見をまとめた。
	4. 飯坂温泉・内湯旅館青葉に関する報告書	単著	平成30年3月	福島県	飯坂温泉に所在する旅館青葉の建物について、建築的・地域的価値をまとめた所見を執筆した。
	5. 平成29年度ヘリテージマネージャー育成講習会報告書	共著	平成30年3月	福島県歴史的建造物保全活用促進協議会	「国見町の石造建築物調査報告書について」と題した授業の内容を収録し、国見町の事例を紹介して地域に眠る文化財の調査方法やその意義について講演した。
	「デザイン制作」 1. 石工フェスin石蔵に関する広報用フライヤー制作	単著	平成29年9月	国見町企画情報課歴史まちづくり推進室	国見町と郡山女子大学人間生活学科建築デザインコースが共催したイベントにおいて利用した広報用のフライヤー(5,500部)およびポスターのデザイン制作を行った。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
佐久間 邦 友	(著書) 1. 子どもの貧困対策と教育支援	共著	2017年 9 月	明石書店	「学習支援が制度化されることによって学習支援事業はどのように変化するのか」を問うた。具体的には埼玉県的生活保護受給者チャレンジ事業を取り上げ、制度化によって生じる学習支援事業の変化と学習支援事業そのものに対する意義と課題を考察した(163-192頁)。(総頁数379頁、末富芳編、15名による共著)
	(その他) 1. 教育課程におけるダブルスタンダードに関する一考察—調理師養成におけるカリキュラム・マネジメント—	共著	2018年 3 月	郡山女子大学紀要 (郡山女子大学) 第54集 印刷中	調理師免許取得可能な高等学校を例に挙げて、文部科学省告示の「学習指導要領」と厚生労働省局長通知の「調理師養成施設指導ガイドライン」を照らし合わせることによって、①授業の出席に関する所管省庁間の行政指導内容における差異、②所管省庁間それぞれで定められている教育内容を検討した。(共著者：佐久間邦友、田中真秀)(研究ノート・報告)
	2. 特別活動の指導に関する学校現場の多忙感に関する研究—学校行事に焦点を当てて—	共著	2018年 3 月	川崎医療福祉学会誌 (川崎医療福祉学会) 27巻 2 号 印刷中	特別活動における学校行事の指導と新・学習指導要領改訂に伴う学校行事の指導を比較し、「学校行事における学校現場の多忙感・負担の要因」をいくつかの事例をもとに考察を試みた。(共著者：田中真秀、佐久間邦友、佐藤典子)(原著)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	3. 道徳の指導資料に関する一考察	共著	2018年3月	川崎医療福祉学会誌 (川崎医療福祉学会) 27巻2号 印刷中	東京都と福島県の道徳教材・指導資料について現状を把握し、整理を行うことにより今後の道徳科の実施に当たりどのような課題が生じるであろうかを予想・考察した。(共著者：田中真秀、佐久間邦友、佐藤典子)(資料)
	4. 小中一貫教育の設置形態・運営及び教育課程に関する一考察—創設期における義務教育学校の教育課程等に着目して—	共著	2018年3月	川崎医療福祉学会誌 (川崎医療福祉学会) 27巻2号 印刷中	学校教育制度の多様化及び弾力的な運用ができるようにするための制度改変である義務教育学校を取り上げて、小中一貫教育のカリキュラムと2016(平成28)年度から設置された義務教育学校のカリキュラムを比較した。(共著者：田中真秀、佐久間邦友)(原著)
	(その他) 「学会発表」	単独	2017年9月	日本学習社会学会 第14回大会 国士舘大学	教育委員会が主導して実施されている自治体主導型学習支援事業の事例を通して、その効果と課題を明らかにしようと試みた。
	1. 自治体主導型学習支援事業の効果と課題—教育委員会主導の事例を通して—	単独	2017年12月	日本教育事務学会 第5回大会 日本大学文理学部	自治体主導型学習支援事業の中でも福祉部局が実施する学習支援事業の現状と課題を沖縄県の事例を通して、「チーム学校」における福祉行政との連携に必要な示唆を検討した。
	2. 「チーム学校」における福祉行政との連携に関する研究—学習支援事業の現状と課題を通して—	単独	2017年12月	日本教育事務学会 第5回大会 日本大学文理学部	自治体主導型学習支援事業の中でも福祉部局が実施する学習支援事業の現状と課題を沖縄県の事例を通して、「チーム学校」における福祉行政との連携に必要な示唆を検討した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	3. 北海道における自治体主導型学習支援事業の実態と課題	共同	2018年3月	北海道教育学会 第62回研究発表大会 室蘭工業大学	自治体が主導して独自に行う学習支援事業を「自治体主導型学習支援事業」と呼び表し、その実態と課題を探るため、全国的な動向を踏まえつつ、北海道岩見沢市「土曜学習塾」と同歌志内市「チャレンジキャンパス」の事例を取り上げ、その制度的・実践的特徴の比較検討を行う。(高嶋真之との共同)
大泉由美	(その他) 1. 生活関連品やモノのリスクマネジメントの研究	共著	平成29年5月28日	(一社)日本家政学会第69回大会(奈良女子大学)	リスクマネジメント研究事例を分析評価し、リスク予測の精度を上げ生活者により説得性の高い手法の提言を試みた。共同発表者：武井玲子、鍋山友子
藤原建樹	(学術論文) 1. 心因性非てんかん性発作	単著	2017年5月	科学評論社、神経内科 86:542-545,2017	心因性非てんかん発作はてんかんと鑑別が難しく、てんかんとして誤って治療されている場合が多い。両者の鑑別のポイントを解説した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
西山慶治	(学術論文) 1. Motor neurons with limb-innervating character in the cervical spinal cord are sculpted by apoptosis based on the Hox code in chick embryo	共著	平成29年12月	Development, vol.144 4645-4657	ニワトリ胚発生課程において、上肢の筋を支配する神経に相当する細胞が、上肢の無い頸部を支配する脊髄の領域でも一時的に分化したのち、アポトーシスで消失することを発見した。このアポトーシスはHox遺伝子群の発現パターンに依存していることを明らかにした。 本人担当部分：writing-review & editing 共著者：katsuki Mukaigasa, Chie Sakuma, Tomoaki Okada, Shunsaku Homma, Takako Shimada, <u>Keiji Nishiyama</u> , Noboru Sato, Hiroyuki Yaginuma
鋏野信子	(その他) 1. お酒の楽しみ方 ワイン編 その①「ワインと宗教(1)」	単著	2017年4月	酒販の友 No679 p.12-13	ワインと宗教の歴史的背景について、ギリシャ神話やキリスト教とワインとの関わりについて解説した。
	2. お酒の楽しみ方 ワイン編 その②「ワインと宗教(2)」	単著	2017年5月	酒販の友 No680 p.10-11	ワインと宗教の歴史的背景について、ユダヤ教やイスラム教とワインとの関わりについて解説した。
	3. お酒の楽しみ方 ワイン編 その③「修道院・宣教師」とワイン	単著	2017年6月	酒販の友 No681 p.10-11	ワインと宗教の歴史的背景について、キリスト教における修道院や宣教師とワインとの関わりについて解説した。
	4. お酒の楽しみ方 ワイン編 その④ 権力とワイン	単著	2017年7月	酒販の友 No682 p.10-11	ワインと政治の歴史的背景について、権力や勢力とワインとの関わりについて解説した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	5. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑤ 戦争とワイン	単著	2017年8月	酒販の友 No683 p. 6-7	ワインと政治の歴史的背景について、戦争とワインとの関わりについて解説した。
	6. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑥ ワインの健康への効果や効能は歴史的にどう考えられてきたか-1	単著	2017年9月	酒販の友 No684 p. 8-9	ワインと健康の関わり方について、歴史的な健康への効果や効能について解説した。
	7. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑦ ワインの健康への効果や効能は歴史的にどう考えられてきたか-2	単著	2017年10月	酒販の友 No685 p. 8-9	ワインと健康の関わり方について、古来から伝わる経験に導かれた効果を解説した。
	8. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑧ 聖書におけるワイン-その健康に関する考え方	単著	2017年11月	酒販の友 No686 p. 8-9	ワインと健康の関わり方について、聖書におけるワインの健康に関するところについて解説した。
	9. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑨ 近現代のワイン療法の変遷	単著	2017年12月	酒販の友 No687 p.10-11	ワインと健康について、「フレンチ・パラドックス」以前の現代の科学的なワイン療法の変遷について解説した。
	10. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑩ ワインの歴史-暮らしの中のワイン	単著	2018年1月	酒販の友 No688 p.12-13	ワインの歴史的背景について、庶民の日常生活の中でのワインの果たしてきた役割について解説した。
	11. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑪ 日本とワイン	単著	2018年2月	酒販の友 No689 p.12-13	日本におけるワインの歴史的変遷と、日本におけるワインの位置づけについて解説した。
	12. お酒の楽しみ方 ワイン編 その⑫ ワインと料理の相性	単著	2018年3月	酒販の友 No690 p.11-13	有機酸組成から見たワインと料理の相性について、ブドウのワインとブルーベリーワインの違いについて解説した。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
菊 池 節 子	(その他) 「学会発表」 1. 減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価(第4報) - 減塩調理の慣れに必要な期間について -	共同研究	2017年9月	一般社団法人日本調理科学会平成29年度大会 (於: お茶の水女子大学)	高齢者を対象に1週間の減塩生活を実施し、鹹味嗜好の変化について検討を行った結果、減塩調理の慣れに必要な期間は2週間であることを報告した。 菊池節子、善方美千子、坂野史明、小幡明雄、藤本健四郎
	(口頭発表) 2. 減塩醤油を活用した浅漬け風味調味野菜の調理科学的開発研究	共同研究	2017年12月	第29回 福島県栄養改善学会 (於: 郡山市労働福祉会館 郡山市)	普段減塩を行う際には控えがちな漬物を研究試料とし、減塩でもおいしい調味野菜について検討した。 菊池節子、大沼佳乃、三浦里花、郡司尚子、善方美千子、坂野史明、小幡明雄、藤本健四郎
	(口頭発表) 「報告書」 1. 郡山市震災後子どもへのケアプロジェクト 郡山の子どもの心と体の育ち見守り事業 運動や食事についてのアンケート調査報告書(2016年)	共著	2017年3月	認定NPO法人 郡山ベップ子育てネットワーク	本報告書は平成28年度実施の郡山市の子どもたちの生活習慣等に関するアンケート調査結果をまとめたものである。 本人担当部分: 食習慣、食事の様子 pp. 8-9、34-58 菊池信太郎、中村和彦、菊池節子、長野康平、岸本あすか、高橋千春

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
岡部聡子	(口頭発表) 1. 精神科デイケアにおけるロコモティブシンドローム予防運動の実施と食生活の実態について	共著	2017年9月15日	日本栄養改善学会	精神科クリニックに通所しているデイケアメンバーを対象として、不活動によるロコモティブシンドロームの予防と食事の摂取状況を調査した。 共同研究者：本間杏菜、金子依里香
	2. 摂食尺度日本語版DEBQを用いた女子大学生の肥満意識と運動・間食の関係について	共著	2017年12月6日	福島県栄養改善学会	本学食物栄養学科1～4年生を対象として、心理的な食行動評価尺度である日本語版（DEBQ）の各得点と肥満意識・運動習慣の有無・間食の程度との関連を検討した。 共同研究者：宮澤知里、齋藤朱加、藤原里実、伊藤慎也
	(示説発表) 1. Attempts to improve anemia and dietary habits of high school girl students.	共著	2017年8月7日	19th Biennial International Congress ARAHE	附属高校卓球部を対象としてスポーツをする女子高校生の適正なエネルギー摂取と鉄摂取量について知識の伝達と実践を目的とした栄養教育活動の取り組みを報告した。 共同研究者：水野時子、横田和子、本間杏菜
先崎和子	(その他) 1. 保護者の食生活が幼児へ与える影響について	共同	平成30年3月	福島県保健衛生雑誌	幼児期の保護者とその子どもを対象に食生活調査を実施し現状と問題点を明らかにした。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 新栄町の生活習慣に関わる調査	共同	平成30年3月	福島県保健衛生雑誌	健康教室の参加者を対象に健康づくりと介護予防の観点から生活習慣と食生活・運動に関する調査を実施し、現状を明らかにした。
亀田明美	(著書) 1. 給食経営管理論実習	共著	2017年4月	建帛社	給食の運営実習および給食経営管理実習で用いる実習書の、「実習の展開・学校給食」の部分を執筆した。 石田裕美、縄田敬子、堀端薫、高橋孝子、辻ひろみ、平澤マキ、佐々木ルリ子、亀田明美、金光秀子、寒河江豊昭、小林奈穂
	(学術論文) 1. 管理栄養士養成課程学生4年進級時におけるコンピテンシー到達度と国家試験受験希望との関連	共著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	コンピテンシー到達度と管理栄養士国家試験受験希望の関連性を明らかにし、国家試験対策における、今後の課題を検討した。 亀田明美、善方美千子、本間杏菜
影山志保	(口頭発表) 1. 農産品の放射線分析	共同	2017年5月	日本家政学会69回大会(奈良女子大学)	実験実習時に持ち寄った農産品の放射線分析を実施し、県外でも放射線量が高い農産品があり、除染の実施の有無が影響していることを報告した。
	2. 栄養補給飲料甘酒ミルクの研究	共同	2017年5月	日本家政学会69回大会(奈良女子大学)	栄養補給飲料甘酒ミルクの配合比を研究し、塩化カルシウムを添加した後味がさわやかで栄養補給飲料として相応しい甘酒飲料を作り報告した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	3. 福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向(2016)	共同	2017年8月	日本菌学会61回大会(東北大学)	2016年に福島県内で採取したきのこの放射性セシウム濃度の動向を報告した。
	4. 夏の猪苗代湖鬼沼周辺の里山の自然観察会	共同	2017年8月	湖南公民館	猪苗代湖鬼沼周辺の水質調査と里山の自然観察会の結果を報告した。
	5. 猪苗代湖・裏磐梯湖沼「水環境保全フォーラム」湖沼の水環境保全活動事例発表	共同	2017年11月	猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会(学びいな)	猪苗代湖の水質調査を実施し、猪苗代湖の水質の現状と問題点を報告した。
坂野史明	(学術論文) 1. Live imaging of extracellular signal-regulated kinase and protein kinase A activities during thrombus formation in mice expressing biosensors based on Förster resonance energy transfer.	共著	平成29年7月	J Thromb Haemost, 15(7), p.1487-1499	バイオセンサーを発現するトランスジェニックマウスのin vivoイメージングにより、血小板内の細胞外シグナル調節キナーゼが血栓形成の開始と維持に必須となること、プロテインキナーゼAが初期相においてのみ血栓形成を抑制することを明らかにした。著者：Hiratsuka T, Sano T, Kato H, Komatsu N, Imajo M, Kamioka Y, Sumiyama K, <u>Banno E</u> , Miyata T, Matsuda M,担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. Plasminogen Tochigi mice exhibit phenotypes similar to wild-type mice under experimental thrombotic conditions.	共著	平成29年7月	PLoS One,12(7), e0180981 (p. 1-17)	日本人に高頻度に見られる線溶因子プラスミノゲン A620T変異の相同変異を持つノックインマウスを樹立し、その静脈血栓症、脳梗塞、創傷治癒症状への影響を解明した,著者：Tashima Y, <u>Banno F</u> , Kita T, Matsuda Y, Yanamoto H, Miyata T,担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能
	3. ADAMTS-13 regulates neutrophil recruitment in a mouse model of invasive pulmonary aspergillosis	共著	平成29年8月	Sci Rep, 7(1), 7184 (p. 1-12)	マウス侵襲性肺アスペルギルス症モデルを用いた解析から、ADAMTS13が急性肺炎時の自然免疫応答において、過剰な好中球浸潤を抑制することを明らかにした,著者：Hasibeder A, Prüfer S, Ebner K, Reuter S, Lopez PA, Scharrer I, <u>Banno F</u> , Stassen M, Schild H, Jurk K, Bosmann M, Beckert H, Radsak MP,担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能
	4. 酸価はフライ油の単純加水分解では無く酸化的劣化の指標の一つである	共著	平成29年12月	日本調理科学会誌, 50(6), p.239-244	水噴霧加熱実験系を用いて低酸素雰囲気下でのフライ油の劣化過程を解析し、フライ油の酸価は高温と水分による単純なエステル加水分解ではなく、酸化的劣化が進むのに応じて上昇することを解明した,著者：坂野麻里子, <u>坂野史明</u> , 遠藤泰志, 藤本健四郎,担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 「学会発表」 1. Mouse geneticsと血栓止血学	共同	平成29年6月	第39回日本血栓止血学会学術集会, 会長シンポジウム (於: 名古屋国際会議場)	日本人に高頻度で存在するプロテインS徳島変異とプラスミノーゲン栃木変異について、これらの変異を持つモデルマウスから得られた知見を紹介した, 演者: 宮田敏行, <u>坂野史明</u> , 田嶋優子, 柳本広二, 小亀浩市, 担当部分: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
	2. ADAMTS-13 regulates neutrophil recruitment in a mouse model of invasive pulmonary aspergillosis	共同	平成29年6月	22nd Congress of European Hematology Association (於: IFEMA-Feria de Madrid, Madrid, Spain)	侵襲性肺アスペルギルス症モデルを用いてADAMTS13欠損マウスの症状を解析し、ADAMTS13によるVWF切断が急性炎症過程における好中球動員を抑制的に制御することを解明した, 演者: Hasibeder A, Prüfer S, Ebner K, Reuter S, Lopez PA, Scharrer I, <u>Banno F</u> , Stassen M, Schild H, Jurk K, Bosmann M, Beckert H, Radsak MP, 担当部分: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
	3. 減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価 (第4報) - 減塩調理の慣れに必要な期間について -	共同	平成29年9月	日本調理科学会平成29年度大会 (於: お茶の水女子大学)	女子大生および高齢者を対象に減塩醤油の継続使用による低塩に対する味慣れについて解析し、1週間の減塩生活では低塩調理への慣れは起こらず、嗜好変化には最低2週間の減塩生活が必要となることを解明した, 演者: 菊池節子, 善方美千子, <u>坂野史明</u> , 藤本健四郎, 小幡明雄, 担当部分: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	4. 減塩醤油を活用した浅漬け風味調味野菜の調理科学的開発研究	共同	平成29年12月	第29回福島県栄養改善学会（於：郡山市労働福祉会館）	通常、減塩を行う際には控えがちな漬物を研究試料とし、減塩醤油を用いることで減塩でもおいしい調味野菜を開発した、演者：菊池節子，大沼佳乃，三浦里花，郡司尚子，善方美千子，坂野史明，小幡明雄，藤本健四郎，担当部分：共同研究につき本人担当部分抽出不可能
佐藤浩明	(その他)				
	全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会「さくらバレー」ベスト8		29年度3月		選手一人一人の試合に対する競技意識の向上とメンタル面等の強化を図り、各選手が試合で最高のプレーが活躍できるように、プレーを数多く編集し、イメージビデオやその他、数多くの試合データを収集した内容と教材としてそれをチームミーティング等でフルに活用し、チームが勝ち続けるために不可欠とされる部分を重要ポイントとした成果です。
	福島県高等学校体育大会バレーボール競技 優勝		29年度6月		
	東北高等学校バレーボール選手権大会NHK杯大会 出場		29年度6月		
	福島県総合体育大会バレーボール競技 少年女子 優勝		29年度7月		
	全国高等学校総合体育大会「インターハイ」出場		29年度8月		
	東北総合体育大会「東北ミニ国体・国体東北ブロック予選3位」		29年度8月		
	29年度10月 第73回えひめ国体出場 福島県バレーボール競技 全国ベスト16		29年度10月		

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	29年度 11月 全日本バレーボール高等学校選手権大会福島県代表決定戦 優勝		29年度11月		
	全日本バレーボール高等学校選手権大会「春高バレー」2回戦		29年度1月		
郡司尚子	(学術論文) 1. エゴマの酸化安定性を高めるための検討－油脂の配合割合の影響－ (査読付き)	単著	2018年3月	郡山女子大学紀要第54集	酸化安定性の低いエゴマ油に焙煎搾りごま油を混合し、酸化安定性を高めるための検討を行った結果、焙煎搾りエゴマ油に焙煎搾りごま油を30%以上配合すると安定性が向上することが示唆された。
	(その他) 「学会発表」 1. 減塩醤油を活用した浅漬け風味調味野菜の調理科学的開発研究 (口頭発表)	共同	2017年11月	第29回福島県栄養改善学会 (於：郡山市労働福祉会館 郡山市)	普段減塩を行う際には控えがちな漬物を研究試料とし、減塩醤油を用いることで、減塩でもおいしい調味野菜について検討した。 菊池節子、大沼佳乃、三浦里花、 <u>郡司尚子</u> 、善方美千子、坂野史明、小幡明雄、藤本健四郎
長谷川貴弘	(学術論文) 1. 中国の経済政策に関する一考察	単著	2018年3月	郡山女子大学紀要第54集	第2期目を迎えた習近平体制の下で、中国経済と経済政策がどのように運営されていくかについて、最新の経済データを参照にしつつ考察を試みた。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
黒 澤 廣 子	(学術論文) 1. 報告 福島県の介護保険施設における嚥下食に関する実態調査と今後の課題	単著	平成30年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	福島県内の介護保険施設における嚥下食の名称、食数、段階、とろみ調整剤の使用状況等の実態調査を実施し、今後の課題を検討した。
	(その他) 1. 学会発表	共同	平成29年9月14日	第64回日本栄養改善学会(於:徳島市)	「福島県内の介護保険施設における嚥下食に関する実態調査と今後の課題」口頭発表
善 方 美千子	(学術論文) 1. 管理栄養士養成課程学生の4年進級時におけるコンピテンシー到達度と国家試験受験希望との関連	共著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	コンピテンシー到達度と管理栄養士国家試験受験希望の関連性を明らかにし、国家試験対策における、今後の課題を検討した。 亀田明美、 <u>善方美千子</u> 、本間杏菜
	(その他) 「学会口頭発表」 1. 減塩醤油を用いた減塩調理への慣れの評価(第4報) -減塩調理の慣れに必要な期間について-	共同研究	2017年8月	一般社団法人日本調理科学会 平成29年度大会 お茶の水女子大学	高齢者を対象に1週間の減塩生活を実施し、鹹味嗜好の変化について検討を行った結果、減塩調理の慣れに必要な期間は2週間であることを報告した。 <u>菊池節子</u> 、 <u>善方美千子</u> 、坂野史明、藤本健四郎、小幡明雄

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 減塩醤油を活用した浅漬け風味調味野菜の調理科学的開発研究	共同研究	2017年12月	第29回 福島県栄養改善学会 郡山市労働福祉会館	普段減塩を行う際には控えがちな漬物を研究試料とし、減塩醤油を用いることで、減塩でもおいしい調味野菜について検討した。 菊池節子、大沼佳乃、三浦里花、郡司尚子、善方美千子、坂野史明、小幡明雄、藤本健四郎
横 田 和 子	(著書) 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・麩のおかず」	共著	平成30年3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	(示説発表) 1. Attempts to improve anemia and dietary habits of high school girl students.	共同	2017年8月7日	19 <sup>th</sup> Biennial International Congress ARAHE	附属高校卓球部を対象としてスポーツをする女子高校生の適正なエネルギー摂取と鉄摂取量について知識の伝達と実践を目的とした栄養教育活動の取り組みを報告した。 共同研究者：水野時子、横田和子、本間杏菜
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 おやつの特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方のおやつ -	共同	平成29年8月 31・9月1日	一般社団法人日本調理科学会 平成29年度大会 (お茶の水女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「おやつ」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「おやつ」の特徴について報告した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
本間杏菜	(学術論文) 1. 管理栄養士養成課程学生の4年進級時におけるコンピテンシー到達度と国家試験受験希望との関連	共著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	コンピテンシー到達度と管理栄養士国家試験受験希望の関連性を明らかにし、国家試験対策における、今後の課題を検討した。 共同研究者：亀田明美、善方美千子、
	(口頭発表) 1. 精神科デイケアにおけるロコモティブシンドローム予防運動の実施と食生活の実態について	共著	2017年9月15日	日本栄養改善学会	精神科クリニックに通所しているデイケアメンバーを対象として、不活動によるロコモティブシンドロームの予防と食事の摂取状況を調査した。 共同研究者：岡部聡子、金子依里香
	(示説発表) 1. Attempts to improve anemia and dietary habits of high school girl students.	共著	2017年8月7日	19 <sup>th</sup> Biennial International Congress ARAHE	附属高校卓球部を対象としてスポーツをする女子高校生の適正なエネルギー摂取と鉄摂取量について知識の伝達と実践を目的とした栄養教育活動の取り組みを報告した。 共同研究者：岡部聡子、水野時子、横田和子
石村由美子	(著書) 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・麩のおかず」	共著	平成30年3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 おやつの特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方のおやつ -	共同	平成29年 8月31・9月1日	一般社団法人日本調理科学会 平成29年度大会 (お茶の水女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「おやつ」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「おやつ」の特徴について報告した。
知野愛	(学術論文) 「結婚・出産・子育てに関する家族観について - 女子短大生の意識調査を基に -」	単著	2018年 3月	「郡山女子大学紀要」第54集	本学幼児教育学科2年生を対象とする調査結果と、10年前の同調査と比較した結果、「結婚したい」割合が増加し、結婚・出産希望年齢も全国平均や県平均よりも低く、「出産後一旦仕事を辞め子育てに専念しその後再就職する」という割合が増加した。一方、家計負担は「どちらも同じ位」が全国平均と比較して多く、「妻の仕事への理解」を求める割合が高かった。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 学会口頭発表 「短大女子学生の結婚・出産・子育てに関する家族観について(第1報) - 郡山女子短大学生の意識調査から -」	単著	2017年 5月 27・28日	日本家政学会第69回 大会研究発表要旨集 p.95 (於：奈良女子大 学)	「結婚・出産・育児、働き方に関する意識調査」(対象：本学短大幼児教育学科2年生)の結果概要を第一報として報告した。結婚生活で不安に思うことは「配偶者の親族との付き合い」「配偶者の家事分担」、子育ての不安は「仕事との両立」、「経済的不安」の順に多かった。全国調査と比較して、結婚後の家計負担を「主に夫」との回答が少なく、「夫妻同じ位」と「妻が担う」が全国平均を上回った。
古 山 幹 雄	(学術論文) 1. 論文タイトル「標準的なノート型PCとキーボード付きタブレット型PCを用いた場合のタイピング能力における差異」 ～教職課程必修の情報処理系授業を一例に～	共著	2018年 3月	郡山女子大学紀要第 54集	タブレット型PCの導入の影響を明らかにするため、教職に係る科目の一つである情報処理科目において、タブレット型PCを用いた場合とノート型PCを用いた場合でタイピング能力を計測して、その差異があるかどうか検証した。
山 口 猛	(学術論文) 1. 標準的なノート型PCとキーボード付きタブレット型PCを用いた場合のタイピング能力における差異 ～教職課程必修の情報処理系授業を一例に～	共著	平成30年 3月	郡山女子大学研究紀 要第54集	情報教育において、タブレット型PC導入の影響を明らかにするため、タブレットPCとノートPCの環境を用意し、教職課程必修の情報処理系授業履修学生156名のタイピング能力測定結果に対して実施した分析結果を示した。 共著者：山口猛、石原正道、古山幹雄

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
阿部優子	(著書) 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・麩のおかず」	共著	平成30年3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 おやつの特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方のおやつ -	共同	平成29年8月31・9月1日	一般社団法人日本調理科学会 平成29年度大会(お茶の水女子大学) 特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「おやつ」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「おやつ」の特徴について報告した。
坂上茂	(その他) 1. 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p31-35
會田久仁子	(著書) 1.『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・麩のおかず」	共著	平成30年3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地域で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(その他) 1. 未来へつなぐふくしま食育ハ ンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福 島	食育のためふくしまFMが開局20周年 を記念して発行し、3年目になるパン フレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」 を分担執筆した。p31-35
	2. 福島県の家庭料理 おやつの特 徴 - 会津地方、中通り地方、 浜通り地方のおやつ-	共同	平成29年8月 31・9月1日	一般社団法人日本調 理科学会 平成29年度 大会(お茶の水女子 大学)特別企画「次世 代に伝え継ぐ日本の 家庭料理」ポスター 発表	前年に引き続き、今回は「おやつ」を テーマとした特別企画展が開催され、 福島県の会津地方、中通り地方、浜通 り地方における「おやつ」の特徴につ いて報告した。
水 野 時 子	(著書) 『応用栄養学概論』	共著	平成29年11月	(株)建帛社	栄養士養成学科で学ぶ学生のために、 各ライフステージの栄養、運動・ス ポーツと栄養、特殊環境やストレスと 栄養について、分担で執筆した。「第5 章乳児期の栄養(p32-42)」を担当した。
	(示説発表) Attempts to improve anemia and dietary habits of high school girl students.	共著	平成29年8月7日	19 <sup>th</sup> Biennial International Congress ARAHE	附属高校卓球部を対象としてスポーツ をする女子高校生の適正なエネルギー 摂取と鉄摂取量について知識の伝達と 実践を目的とした栄養教育活動の取り 組みを報告した。 共同研究者：岡部聡子、横田和子、本 間杏菜

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p31-35
小林澄枝	(著書) 1. 臨床栄養学概論	共著	2018年2月	株式会社 建帛社	栄養士養成課程コアカリキュラムおよび全国栄養士養成施設協会が公表している栄養士実力試験ガイドラインに準拠した内容とし、栄養士養成課程の学生が学びやすい教科書として執筆した。 第7章5～7 腎臓病 pp84-91 第16章2症例10 p145、p148 編著：若菜宣明、田中寛、上田洋子、小林澄枝、今井久美子、加藤チイ、秋沢みどり他
	(その他) 1. 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	2017年4月	株式会社エフエム福島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。P31-35

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	「報告書」 2. 給食論実習 II 記録	共著	2017年10月	郡山女子大学・短期 大学部 家政科 食物 栄養専攻	給食論実習II（学内実習）の授業内容を厨房実習および学食提供メニュー、幼稚園弁当などの全ての実習状況を記録し、給食論実習III（校外実習）へとつなげるための冊子を作成し学生に配布した。全項p81 著者：小林澄枝、鈴木奈津子、 佐藤由佳
金子 依里香	(口頭発表) 1. 精神科デイケアにおけるロコモティブシンドローム予防運動の実施と食生活の実態について	共同研究	平成29年 9月13日・14日	第64回日本栄養改善 学会学術総会	精神科クリニックに通所しているデイケアメンバーを対象として、不活動によるロコモティブシンドロームの予防と食事の摂取状況を調査した。 共同研究者：岡部聡子、本間杏奈
	(その他) 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福 島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p31-35
鈴木 奈津子	(その他) 1. 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福 島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p 31-35

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 平成29年度 給食論実習Ⅱ記録	共著	平成29年10月	郡山女子大学短期大学部 家政科食物栄養専攻	給食論実習Ⅲ（校外実習）につなげるための資料として、給食論実習Ⅱ（校内実習）で実施した内容をまとめた。
加藤雅子	(著書) 1. 『別冊うかたま』 伝え継ぐ日本の家庭料理「肉・豆腐・麩のおかず」	共著	平成30年3月1日	(一社) 日本調理科学会発行 (一社) 農村漁村文化協会	日本調理科学会会員が全国各地で実施した聞き書き調査をもとに、次世代に伝え継ぎたい家庭料理として時代背景を交えたレシピ集として紹介する。
	(その他) 1. 福島県の家庭料理 おやつの特徴 - 会津地方、中通り地方、浜通り地方のおやつ-	共同	平成29年8月31日・9月1日	一般社団法人日本調理科学会 平成29年度大会（お茶の水女子大学）特別企画「次世代に伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表	前年に引き続き、今回は「おやつ」をテーマとした特別企画展が開催され、福島県の会津地方、中通り地方、浜通り地方における「おやつ」の特徴について報告した。
	2. 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p31-35
佐藤由佳	(その他) 1. 未来へつなぐふくしま食育ハンドブック2017	共著	平成29年4月	株式会社エフエム福島	食育のためふくしまFMが開局20周年を記念して発行し、3年目になるパンフレット。 第5章「親子で楽しむ簡単クッキング」を分担執筆した。p31-35

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	2. 給食論実習Ⅱ記録 平成29年 度	共著	平成29年10月	家政科食物栄養専攻	給食論実習Ⅲ（校外実習）を受講する 学生に対し、給食論実習Ⅱ（学内実習） で行った授業内容を記録・製本し配布 した。
三 瓶 令 子	（著書） 1. 保育実習ハンドブック （改訂版）	共著	平成30年 3月	学術図書出版	本書は、学生が幼稚園・保育所・施設 実習を体験する際に活用できるハンド ブックである。 内容は、保育実践者としての素養の 醸成、及び実習への具体的対処法の両 者を含んでいる。 三瓶は、第4章 実習の要点 の中の第4節 教材研究 表現活動と してのリズムあそびについて記した。 （三瓶令子 柴田卓 猪股照子）外
	2. 実践理解のための保育内容総 論 （改訂版）	共著	平成30年 3月	学術図書出版	2011年12月発刊の同書を、今回の幼稚 園教育要領・保育所保育指針・幼保連 携型認定こども園教育・保育要領の 新たな告示に則して改定したものである。 保育の本質を実践に結び付ける保育 内容のテキストである。三瓶は、第10 章 年中児（4歳）の保育展開につい て、主に年中時の音楽的なあそびや活 動の側面から記載した。 （岸井 慶子編著 三瓶令子外）

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(学術論文) 1. 保育者養成における実習を中心とした科目間連携に関する研究	共著	平成30年3月	本学紀要第54集	本研究は、養成校の1、2年生に対する実習後のアンケート調査を実施するとともに、実習に向けて教員間や科目間で連携して取り組んでいる事例を整理し、実習に向けた科目間連携が実習に於いてどのように生かされているのかを検討、報告した。(柴田卓、伊藤哲章、猪股照子、ポール エドワードバーナミィ、仲西真美子、三瓶令子)
	(その他) 1. 学会発表 保育者養成における科目間連携に関する研究	共同	平成30年3月4日	日本保育者養成教育学会 第2回大会 (於：共立女子大学)	本研究では、実習に向けて教員間や科目間で連携して取り組んでいる事例を整理し、考察を加え、保育者養成校における実習に向けた科目間連携に関する検討を行うことを目的とした。(伊藤哲章、柴田卓、猪股照子、仲西真美子、三瓶令子)
富士盛 公 年	(その他) 1. 「4歳児全員を対象とした白河市すこやか相談会の取り組みについて」	共著	2017年9月15日	第46回福島県保健衛生学会口頭発表	白河市で行われている子育て相談支援の事業について、アンケート調査をして、評価と課題をまとめた。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 「長期スパンで見た軽度発達障害の実情と支援」	共著	2017年9月24日	日本カウンセリング学会第50回記念大会自主シンポジウム	現在、中規模の市で保護者相談支援の事業を実施しており、そのスーパーバイザーとして3年目となった。昨年度、3年目で初めて市内のすべての3歳児を見ることができた。発達障害についての相談支援と情報連携について、話題を提供した。
一 柳 智 子	(著書) 1. 「民俗芸能の中期的復興過程における継承活動の諸相と原動力—福島県浜通り地方の3つの田植踊りを事例として」	単著	平成30年1月31日	『震災後の地域文化と被災者の民俗誌』高倉浩樹、山口睦編 新泉社	中期的復興過程における被災地福島県浜通り地方の復興した3つの田植踊りを事例に、活動過程を分析し、その原動力を考察した。
	(学術論文) 1. 「幼児教育における表現運動教育としての保育内容『リズム』の意義と変遷」	単著	平成30年2月28日	『郡山女子大学紀要』第54号	保育内容「リズム」は、戦後直後に現われ、米国からの教育的独立を果たした平成元年消滅し、日本の身体表現教育となった。
	(その他) 1. 「民俗芸能という復興力—田植踊保存会意見交換会から—」	単著	平成29年12月16日	民族芸術学会第85回東京例会 (会場：お茶の水女子大学)	民俗芸能の災害復興について、その原動力を平成29年7月1日に実施した田植踊保存会意見交換会の内容をもとに考察した。
	2. 「民俗芸能の復興力—田植踊りを事例に—」	単著	平成30年2月10日	学術成果公開シンポジウム「震災復興における民俗芸能の役割と継承」(会場：郡山女子大学)	東北大学災害科学世界トップレベル研究拠点関連事業として実施されたシンポジウムのシンポジストとして登壇。福島県の復興過程における民俗芸能の有用性について発表した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
小林 徹	(著書) 1. はじめての特別支援学級 学級経営12か月の仕事術	共著	平成29年 4月	明治図書 B 5 型190頁 (分担) 第3章10月 pp118 第3章11月 pp134	監修：宮崎英憲 編著：山中ともえ、川崎勝久、喜多好一 執筆者：小林徹ほか18名 本書は特別支援学級での12か月の学級づくり指南書である。筆者は「学校公開の準備」「作業学習の指導」を執筆した。
	2. 特別支援教育のアクティブ・ラーニング 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	共著	平成29年 7月	ジアース教育新社 B 5 型183頁 (分担) pp172-173 pp176-177	編著：三浦光哉 執筆者：小林徹ほか38名 本書は特別支援教育におけるアクティブ・ラーニングの導入方法55例の授業改善を提案している。筆者は、中学校特別支援学級における作業学習と進路学習の2事例を執筆した。
	(その他) (学会発表) 1. 保育者養成課程で身につけてほしい障害児支援の実践力	共同	平成29年 9月	日本特殊教育学会 第55回大会 (愛知)	(企画) 小林徹・栗山宣夫・橋本陽介(司会) 樫木暢子(話題提供) 細谷一博・齊藤勇紀・相楽典子・横畑泰希(指定討論) 七木田敦・加藤勝弘 本シンポジウムでは、保育者養成校の教員が、各々の取り組みを報告し、養成課程で身につけてほしい障害児支援の実践力を議論した。筆者は企画と全体の取りまとめを担当した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
早川 仁	(学術論文)				
	1. 授業と実習の相乗効果を目指して	単著	2017年度	郡山女子大学学園紀要第54集	実習で自分の能力を超えた課題を課せられ現場不信になってしまい、この職種を敬遠する学生も見られる。著者の担当授業から、保育現場に照らし合わせた実践力が実習活動と連携し、相乗効果が得られる授業内容となるよう再検討していく必要性が示唆された。
	(その他)				
	1. 現代童画展受賞者展「魔法使い」	単著	2017年 会期5/1(月) ~5/7(日)	現代童画会	銀座アートホール F-8号 キャンパス・油彩
	2. 福島県総合美術展覧会(福島県文化センター)(洋画の部)「時の坂道」	単著	2017年 会期6/16(金) ~6/25(日)	福島県	文化センター F-50号キャンパス・油彩 委嘱出品
3. 福島県県南美術展「決別の日」	単著	会期9/7(木) ~9/10(日)	福島県県南美術協会	郡山市文化センター F-50号キャンパス・油彩	
4. 現代童画展「私の声が聞えますかII」	単著	会期11/10(金) ~11/16(木)	現代童画会	東京都美術館 F-130号 ベニヤパネルアクリル・油彩	
草野 葉子	(学術論文)				
	1. “自然素材を使用した造形表現”から保育を考える	単著	2018年3月	郡山女子大学研究紀要第54集	自然素材に魅力をいだきつつも保育現場での使用機会の少ない現状について、その背景を保育者と子どもの関係から探る。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) ＜作品発表＞				
	1. 第67回モダンアート展	単著	2017年4月	東京都美術館	作品：「composition-view」 視点移動による画像構成。
	2. 第5回ふくしま在住作家展	単著	2017年7月	アートスペース羅針盤	作品：「そこにある世界」 植物と自然素材画像の構成。
	3. 第32回モダンアート福島支部展	単著	2017年7月	郡山市民ふれあいプラザ	作品：「composition-view “そこにある世界”」 視点移動による植物画像の構成。
山上裕子	(著書)				
	1. 教育原理	共著	平成30年3月	みらい社	「さまざまな国の教育思想家たち」分担。コメニウス、ルソー等の教育思想と教育実践について執筆した。
	(学術論文)				
	1. 園庭遊びのリスクに関する考察—データベースを手がかりにして—		平成30年2月	郡山女子大学紀要第54集	平成27年から一括公開された保育事故データベースをとおして、園庭遊びのリスクの在り方を考察した。
	(その他)				
	1. 学会発表 デューイのいう経験への接近—プラグマティズムの一動向から—	単著	平成29年9月	日本デューイ学会	現在のプラグマティズムの議論を整理し、イギリス経験論とは異なる経験を再考する点を示した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
折笠国康	(学術論文)				
	1. 折笠国康・庄司一子の本来感の学年差と性差	中学生 共著	2018年3月	郡山女子大学 郡山女子大学紀要第54集	本研究では中学生の本来感、また、対極的な概念である優越感といい子傾向の意因子構造の確認、さらに、それぞれの学年差と性差について検討を行った。また、それぞれの関連性を発達的な視野で検討した。 その結果、本来感、優越感、いい子傾向それぞれに学年差と性差が確認された。また、本来感、優越感、いい子傾向それぞれに特徴的な相関が確認された。
	(その他)				
	1. 折笠国康・庄司一子と優越感のバランスの発達的变化	本来感 共著	2017年9月	日本学校心理学会 第19回つくば大会 発表抄録集 M4 P110	本研究では中学生の本来感と優越感のバランスの発達的变化に着目し、学校適応との関連から考察した。本来感と優越感のバランスの状態は学年差が確認されず、発達的变化とは異なる次元のものであることが考察された。また、本来感と優越感の両方が高い群が学校適応が高いことが示唆された。しかしながら、優越感が高くても本来感が低いと学校適応が低いことが示唆された。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
永瀬悦子	(著書) 1. コンパス乳児保育	共著	2018年1月	建帛社	編著者：咲間まり子 筆者は第8章食事の計画、提供及び評価・改善を担当。冷凍母乳の取り扱い方、食物アレルギーの子どもの対応・アナフィラキシーショックの対処法、保育室における誤食事故予防のための対策、多職種連携等を執筆。99-113頁。
	(学術論文) 1. 保育士資格取得予定学生の命の意味づけに関する研究～生死体験と母性理念、命の意味づけ、本来感に着目して～	単著	2018年3月	郡山女子大学紀要第54集	子どもの命を守り生命尊重していく養護・教育実践者となる保育士資格取得予定学生の教育をしていくための基礎資料とすることを目的に保育士資格取得予定学生を対象とした命の意味づけをまとめた。
	(その他) 「口頭発表」 1. 幼児教育学科学生を対象とした乳幼児の救急蘇生法の演習における教育効果～演習前後の学びの変化と過去の受講形態との関係に着目して～	単独	2017年5月	日本保育学会『第70回日本保育学会大会発表要旨集』 (川崎医療福祉大学)	受講形態と救急蘇生法の習得度の関係からは救急蘇生法の知識・いざという時に実践する自信を養うには定期的に繰り返し実践していくことが必要であることが示された。演習の学びとして「乳幼児と成人の救急蘇生法の違い」や「命の守る意識」「臨機応変な知識・技術・実践力」「保育者としての高い職務意識」等があった。pp.281

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 保育士資格取得予定学生の対児感情と新生児養護体験からみた沐浴技術演習に関する研究～困難に感じる関係性に着目して～	単独	2018年3月	日本保育者養成教育学会『第2回日本保育者養成教育学会発表要旨集』（共立女子大学）	保育士資格取得予定学生の対児感情と新生児養護体験が沐浴技術をする上で困難に感じる関係を分析した。困難に感じる傾向を分析することから教科内容及び教育方法を検討した。
ポール・バーナムイ	1. A Study on the Relationships for the Internship in the Training Programs for Childcare Teachers	Suguru Shibata Tetsuaki Ito Teruko Inomata Mamiko Nakanishi Reiko Sannpei Paul Edward Vonnahme	June 2017 to present	Koriyama Women's University : Volume55	This research summarizes cases and cooperation among the teachers regarding collaborating subjects, as a result, the following five viewpoints became clear. First, it's understood that the students are lacking in the practical skill of controlling children in a classroom. Secondly, knowing this tendency of the students before internships, teachers will discuss the topics needed for learning which will leave them better organized; these discussions are valid in guiding the students to be better prepared for training. Thirdly ...
伊藤哲章	(著書) 1. 「生物現象に関する幼児の知識体系」	共著	平成29年6月	『理科教育基礎論研究』大高泉編著、協同出版	生物現象における幼児の知識体系について、4つの理論的問題を取り上げた。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(学術論文)				
	1. 「幼児の生命現象認識と小学校生活科教材への示唆」	共著	平成30年1月	『静岡大学教育実践総合センター紀要』、第27巻	幼児を対象に心的特性、身体的特性及び身体の再生に関する面接調査を実施し、その特質を明らかとした。
	2. 「イギリス初等教科書における環境教育に関する教育内容の特質」	共著	平成30年3月	『郡山女子大学紀要』、第54集	イギリスの初等教科書等を分析し、イギリスの初等教育における環境教育のカリキュラムの特質を明らかとした。
	3. 「保育者養成校における実習を中心とした科目間連携に関する研究」	共著	平成30年3月	『郡山女子大学紀要』、第54集	実習を中心とした科目間連携を実践し、その有効性をフィールドワーク、質問紙調査、インタビュー調査等から多面的に探った。
	(学会発表)				
	1. 「幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の在り方に関する研究」	共同	平成29年11月	日本理科教育学会東北支部（山形大学）	幼児の資質・能力について保育者が保持している認識を質問紙調査をもとに明らかとし、その特質を発表した。 (東北理科教育賞研究奨励賞受賞)
	2. 「大学生の生活科学習への思いについての調査研究－小学校教員養成の学生を対象として－」	単独	平成29年12月	日本科学教育学会研究会（宮城学院女子大学）	小学校教員養成課程の学生の生活科学習に対する思いを明らかとすること目的として質問紙調査を実施し、その特徴を発表した。
	3. 「保育者養成校における科目間連携に関する研究－保育実習を中心として－」	共同	平成30年3月	日本保育者養成教育学会（共立女子大学）	保育者養成校における科目間連携についてフィールドワーク、質問紙調査、面接調査等を実施し、その有効性を発表した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
柴田卓	(著書)				
	1. 「楽しく学ぶ運動遊びのすすめ」－ポートフォリオを活用した保育実践力の探求－	共著 分担執筆 (編者)	平成29年4月	みらい	授業や実習にて実践・学習した運動遊びの内容・安全性・疑問点等をふりかえるポートフォリオとしての教材である。(編著者 柴田卓 石森真由子)
	2. 転換期に向き合うデンマークの教育	共著 分担執筆	平成29年8月	ひとなる書房	デンマークの2つの森の幼稚園の実践およびインタビューから、保育理念・保育内容・保育環境・子ども観について取り上げた。(編著者 谷雅泰 青木真理他4名) 第4章1・2節
	3. 保育実習ハンドブック	共著 分担執筆	平成30年3月	大学図書出版	実習事前準備としての運動遊びについて、教材研究および年齢に適した導入展開のポイントについてまとめた。(三瓶令子、猪股照子、他10名) 第4章4節
	(学術論文)				
	1. 保育者養成校における実習を中心とした科目間連携に関する研究	共著 分担執筆	平成30年3月	郡山女子大学紀要第54集掲載予定	1年次保育・教育実習後のアンケート結果を基に、2年次前期科目と実習事前指導を中心に行った科目間連携を取り上げて考察を加えた。
	2. 保育環境としての「自然」に関する－考察－デンマーク・フィンランドの実践に着目して－	共著 分担執筆	平成30年3月	郡山女子大学紀要第54集掲載予定	デンマークの森の保育園とフィンランドの保育園を調査訪問し、保育者へのインタビューから、自然を活かした保育実践について、考察を加えた。
	3. 「イギリス初等教科書における環境教育に関する教育内容の特質」	共著 分担執筆	平成30年3月	郡山女子大学紀要第54集掲載予定	イギリスの初等教科書等を分析し、イギリスの初等教育における環境教育のカリキュラムの特質を明らかとした。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(学会発表)				
	1. デンマーク・フィンランドの保育者養成に関する研究 (4) -フィンランド保育者養成課程の一授業に着目して-	共同	平成29年5月	日本保育学会第70回大会 (川崎医療福祉大学)	フィンランドの保育者養成課程の授業におけるインタビュー調査から、対話や多職種連携が円滑に遂行される在り方を検討した。
	2. デンマーク・フィンランドの保育者養成に関する研究 (5) -両国の保育実践における対話に着目して-	共同	平成29年5月	日本保育学会第70回大会 (川崎医療福祉大学)	デンマークの森のようちえん、フィンランドの幼児体育の実践に着目し、保育における対話の諸相について論考した。
	3. 幼児教育におけるESDの実践 -おのまちわかばたんけんたいの取り組み-	単著	平成29年6月	日本野外教育学会第20回大会 (国立オリンピック記念青少年総合センター)	福島県小野町で実施しているおのまちわかばたんけんたいの取り組みに対して、ESDの視点から考察を加えた。
	4. 幼児体育実践授業に関する研究 (2) -運動遊びを中心に据えた教科間連携の取り組み-	単著	平成29年8月	日本幼児体育学会第13回大会 (龍谷大学)	実習事前指導の一環として実施した「保育表現技術体育I」と「環境」と「附属幼稚園」の連携による取り組みについて考察を加えた。
	5. フィンランドとデンマークの自然保育に関する研究	単著	平成29年11月	日本自然保育学会第2回大会 (上田女子短期大学)	フィンランド・デンマークの自然保育の実践と保育者のインタビューを基に、保育環境としての自然の可能性について考察を加えた。
	6. 「保育者養成校における科目間連携に関する研究 -保育実習を中心として-	共同	平成30年3月	日本保育者養成教育学会 (共立女子大学)	保育者養成校における科目間連携についてフィールドワーク、質問紙調査、面接調査等を実施し、その有効性を発表した。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	7. 「幼児の運動遊びにおける〈動き〉に関する研究－ボール投げに着目して－」	単著	平成30年3月	日本スポーツ運動学会 第31回大会 (至学館大学)	幼児期の運動遊びにおける動きとして、4歳児のボール投げに着目し、運動学的立場から分析を行った。
猪股照子	(著書) 1. 保育実習ハンドブック (改訂版)	共著	平成30年3月	学術図書出版	本書は学生が幼稚園・保育所・施設実習を体験する際に活用できるハンドブックである。内容は保育実践者としての素養の醸成、及び実習への具体的な対処法の両者を含んでいる。 猪股は、「第5章 実習の実際 保育所・幼稚園」の「一節 実習生の生活」「二節 子どもとの関わり・課題場面とその対応」「三節 保育者・園長との関わり」を担当した。 (三瓶令子 柴田卓 猪股照子ほか)
	(学術論文) 1. 保育者養成校における実習を中心とした科目間連携に関する研究	共著	平成30年3月	郡山女子大学紀要第54集	1年次・2年次の実習後に実習担当者が面談アンケートを実施し、実習に対する学生の傾向を調査した。それを踏まえ、実習に向けて教師間や科目間で連携に取り組んでいる事例を整理して、考察を行った (柴田卓 伊藤哲章 猪股照子 ポールエドワードバーナミィ 仲西真美子 三瓶令子)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 1. 保育者養成校における実習を中心とした科目間連携に関する研究 ポスター発表	共著	平成30年3月4日	共立女子大学 日本保育者養成教育学会 第2回研究大会	1年次・2年次の実習後に実習担当者が面談アンケートを実施し、実習に対する学生の傾向を調査した。それを踏まえ、実習に向けて教師間や科目間で連携に取り組んでいる事例を整理して、考察を行った (柴田卓 伊藤哲章 猪股照子 ポールエドワードバーナミイ 仲西真美子 三瓶令子)
仲西真美子	(学術論文) 1. 保育者養成校における科目間連携に関する研究～保育実習を中心として～	共著	平成30年3月	郡山女子大学紀要第54集	実習に向けて教員間や科目間で連携して取り組んでいる事例を整理し、考察を加え、保育者養成校における実習に向けた科目間連携に関する検討を行うことを目的とした。 (柴田卓・伊藤哲章・猪股照子・ポールエドワードバーナミイ・仲西真美子・三瓶令子)
	(その他) 1. 保育者養成校における科目間連携に関する研究～保育実習を中心として～	共同	平成30年3月	日本保育者養成教育学会 (共立女子大学)	保育者養成校における実習に向けた科目間連携について発表した。
星野朋子	(学術論文) 1. 「イギリス初等教科書における環境教育に関する教育内容の特質」	共著	平成30年3月	『郡山女子大学紀要』第54集	イギリスの初等教科書等を分析し、イギリスの初等教育における環境教育のカリキュラムの特質を明らかとした。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
	(学会発表) 1. 「幼児期の教育と小学校教育の 円滑な接続の在り方に関する研 究」	共同	平成29年11月	日本理科教育学会東 北支部（山形大学）	幼児の資質・能力について保育者が保 持している認識を質問紙調査をもとに 明らかとし、その特質を発表した。 (東北理科教育賞研究奨励賞受賞)
浅 野 章	(著書) 1. 第91回国展	単著	2017年5月	国立新美術館 東京都港区六本木 その後、愛知県美術 館ギャラリー・大阪 市立美術館・福岡ア ジア美術館を巡回	「人の心の中にある原初的なもの。そ して今の自分の記録としての“風景”。」 というテーマを基に油彩画で表現した 大型作品「生産的母の絵」(227×182 cm)、1点を発表。
	2. 国画13の視線展	単著	2017年5月	ギャラリー向日葵 東京都中央区銀座	同上テーマの作品「紅い頬のおんな」 を含め、2点を発表。
	3. 第71回福島県総合美術展	単著	2017年6月	福島県文化センター 福島市	同上テーマの作品「救世主的母の絵」、 1点を発表。
	4. 遊A会展	単著	2017年6月	ギャラリー柏屋 郡山市	同上テーマの作品「富士燦々」を含め、 2点を発表。
	5. 海の日芸術祭ニューヨーク展	単著	2017年10月	The NIPPON Gallery at NIPPON CLUB N.Y.C	同上テーマの作品「Eternal dance」、 1点を発表。
	6. 第61回郡山市総合美術展	単著	2017年11月	郡山市文化センター 郡山市	同上テーマの作品「ふたつの羽根」、1 点を発表。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
齊藤弘久	(著書)				
	1. 第63回福島水彩展	単著	2017年6月	郡山市民文化センター	「アングリマーラ」 シルクスクリーン・リトグラフ
	2. 第55回新構造社埼玉支部展	単著	2017年7月	埼玉県立近代美術館	「E-KUDS-NA」 シルクスクリーン・リトグラフ
	3. 第32回埼玉県版画家協会展	単著	2017年7月	川越市立美術館 (埼玉県)	「ANURUっDA」 シルクスクリーン・ジクレー
	4. 第89回新構造展	単著	2016年9月	東京都美術館	「HA-MU」オオタカ シルクスクリーン・ジクレー
	5. 第55回大洋美術協会展	単著	2017年10月	東京銀座 交通会館 ギャラリー	「Syusyotenki-2561」 シルクスクリーン・ジクレー
	6. 第6回新構造東京展	単著	2018年2月	六本木 国立新美術館	「THO-GIN」(当今) シルクスクリーン・ジクレー
7. 小品展+チャリティー展 (埼玉県版画家協会主催)	単著	2018年3月	ギャラリー麦 (埼玉県狭山市)	「KYO-JITU」(虚実) シルクスクリーン・リトグラフ	
小松太久	(その他)				
	1. 第67回モダンアート展	単著	2017年4月	東京都美術館/ 東京都台東区	美術団体モダンアート協会主催の美術展。作品名: 「Di-Vision Fire I」 「Di-Vision Fire II」
	2. 第五回ふくしま在住作家展	単著	2017年7月	アートスペース羅針 盤/東京都中央区	福島県在住作家による美術展。作品名: 「Di-Vision」
3. 第32回モダンアート福島支部展	単著	2017年7月	郡山ビッグアイ/ 福島県郡山市	美術団体モダンアート協会福島県支部による美術展。作品名: 「Di-Vision Fire I」 「Di-Vision Fire II」	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
松田理香	(作品発表・展示会等)				
	1. 2017 現代童画会 春季展	単著	2017年 4月3日-9日	会場：銀座アート ホール（東京都中央 区銀座）	主催：現代童画会 作品名：「変わらぬもの - 朧月 -」 (S 8号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆 主催：現代童画会
	2. 2017 現代童画会 選抜展	単著	2017年 8月21日-27日	会場：銀座アート ホール（東京都中央 区銀座）	作品名：「とりどり。」(S 8号) 主な材料：アクリル絵具・オイルパス テル・色鉛筆
3. 第43回 現代童画展	単著	2017年 11月10日-16日	会場：東京都美術館 (東京都)	主催：現代童画会 作品名：「天球探査」(S 80号) 主な材料：アクリル絵具・色鉛筆	
黒沼令	(その他)				
	1. 第91回国展彫刻部	単著	平成29年5月	国立新美術館 東京都中央区	団体公募展。会員として「しじま」 (200×80×60cm櫛) 出品。
	2. 第71回福島県総合美術展	単著	平成29年6月	福島市文化センター 福島県福島市	福島県主催の公募展。「うろ」(60×30 ×25cm檜) 出品。
	3. 二日展	単著	平成29年8月	福島テルサ 福島県福島市	福島県の教員を中心としたグループ展。 「雲居」(60×15×15cm楠、櫛) 出品。
	4. 不来方高校創立30周年卒業生 選抜展	単著	平成29年8月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	共同展示会。「嘆息」(230×80×60cm 桂)「物思いⅡ」(70×40×25cm桂) 他9 点出品。
5. 脈Fukushima2017展	単著	平成29年8月	福島市文化センター 福島県福島市	共同展示会。「しじま」(200×80×60cm 櫛)「うろ」(60×30×25cm桂) 他2点出 品。	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	6. あいづまちなかアートプロジェクト新しいAIZUの美術展	単著	平成29年10月	会津稽古堂 福島県会津若松市	共同展示会。「しじま」(200×80×60cm 檜)「貌一Ⅰ」(40×20×20cm テラコッタ)「貌一Ⅱ」(40×20×20cm テラコッタ) 出品。
	7. 福島青年美術の展望展2017	単著	平成29年11月	あだたら高原美術館 ao 福島県二本松市	共同展示会。福島県内で活動する40歳以下の美術作家が作品を展示した。「雲居」(60×15×15cm 楠、檜) 他3点出品。
	8. 第53回福島県彫刻会展	単著	平成29年11月	福島市文化センター 福島県福島市	共同展示会。「貌一Ⅰ」(40×20×20cm テラコッタ) 他2点出品。
	9. 第61回郡山市総合美術展	単著	平成29年11月	郡山市文化センター 福島県郡山市	郡山市主催の公募展。審査員として「しじま」(200×80×60cm 檜) 出品。
	10. 第70回岩手芸術祭美術展	単著	平成29年12月	岩手県民会館 岩手県盛岡市	岩手県主催の公募展。「受容」(60×30×20cm 檜、桂) 出品。奨励賞受賞。
	11. 第40回国展彫刻部秋季展	単著	平成29年11月	東京都立美術館 東京都台東区	共同展示会。国画会彫刻部の会員、準会員、受賞作家による展覧会。「受容」(60×30×20cm 檜、桂) 出品。
	12. N.E.blood21 黒沼令展	単著	平成30年2月	リアス・アーク 美術館 宮城県気仙沼市	個展。「漂う人」(220×120×80cm 檜、桂)「嘆息」(230×80×60cm 檜、桂) 他12点出品。
	13. アートフェスタいわて2017	単著	平成30年3月	岩手県立美術館 岩手県盛岡市	共同展示会。「受容」(60×30×20cm 檜、桂) 出品。

氏 名	著書、学術論文等の名称	単著、共著 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
草 野 順 子	(その他)				
	1. 第91回国展	単著	平成29年 5月3日～15日	東京六本木国立新美 術館 東京都港区六 本木	団体公募展。 『すべて食べてしまえたらいいのに』 F130号 他3点。
	2. 第71回福島県総合美術展覧会	単著	平成29年 6月16日～25日	とうほう・みんなの 文化センター（福島 県文化センター） 福島県福島市	団体公募展。 『欲張り』S50号。
	3. あだたらの視点2017「福島青 年美術の展望」	単著	平成29年 11月3日～5日、 10日～12日 (前期)	あだたら高原美術館 青-ao- 福島県二本松市	グループ展。 『lunch time』F40号。
4. コレカラノヒトタチ展	単著	平成30年 2月19日～25日	銀座ギャラリーあづ ま 東京都中央区銀 座	グループ展。 『u ne ru』F30号 『koi koi』F3号 計2点。	
磯 部 哲 夫	(学術論文)				
	1. 「保育者養成課程における歌 唱に関する研究」 ～女性の地声と裏声の発声法と歌 唱法～ (査読付)	単著	平成30年2月	郡山女子大学紀要第 54集	保育者養成における歌唱時の地声と裏 声の発声について、それぞれの発声法 と地声と裏声のチェンジ法、地声と裏 声を交えた歌唱法を検証した。
2. 音楽科実技科目におけるルー ブリック評価の導入 (査読付)	共著	平成30年2月	郡山女子大学紀要第 54集	音楽科実技演奏のルーブリック評価を 従来通りの評価と比較し、評価の可視 化や在り方について考察を行った。 共著者：横溝聡子、磯部哲夫、南川肇、 深谷登喜子	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 「学会発表」 1. ディプロマ・ポリシーを基にした実技科目におけるルーブリック評価	単発表	平成29年11月1日	平成29年度全日本音楽教育研究会全国大会(総合大会) 沖縄大会 (於：沖縄産業支援センター)	D・P(ディプロマ・ポリシー)ルーブリックを基に、「声楽Ⅰ・Ⅱ(主科)」のルーブリック評価を作成し、検証結果を発表した。
深谷 登喜子	(学術論文) 1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価の導入(査読付)	共著	2018年2月	郡山女子大学紀要第54集	音楽科実技演奏のルーブリック評価を従来通りの評価と比較し、評価の可視化や在り方について考察を行った。
	(その他) 1. 福島声楽協会演奏会	共	2017年 7月2日(日)	會津稽古堂	日本歌曲
	2. 福島県合唱コンクール	共	9月3日(日)	郡山市民文化センター	三善晃 「風に、風から」
	3. 「うたの会」	共	9月29日(金)	福島 テルサ	オペラ「椿姫」「フィガロの結婚」の Aria その他
	4. 福島声楽協会演奏会	共	10月9日(月)	三春 まほら	日本歌曲
	5. 郡山女子大学定期演奏会	共	11月3日(金)	郡山女子大学建学記念講堂	ブラームス「4つの愛のうた」
	6. 郡山音楽連盟演奏会	共	11月18日(土)	郡山市民文化センター	萩原英彦「叙情三章」

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	7. 会津演奏家連盟スプリングコンサート	共	2018年3月4(土)	會津稽古堂	マーラ・チャイコフスキーの歌曲
横溝聡子	(学術論文)				
	1. 保育者養成校におけるピアノ指導法の一考察 (査読付)	単著	2018年2月	郡山女子大学紀要第54集	保育者養成校における使用教材を分析し、教材から見た技術的側面のピアノ指導法についての考察を行った。
	2. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価の導入 (査読付)	共著	2018年2月	郡山女子大学紀要第54集	音楽科実技演奏のルーブリック評価を従来通りの評価と比較し、評価の可視化や在り方について考察を行った。共著者：横溝聡子、磯部哲夫、南川肇、深谷登喜子。
	(その他) 「演奏」				
	1. ミハルコーラス71周年コンサート	共	2017年5月21日	三春交流館まほらホール／福島県	ミハルコーラスの定期演奏会で合唱の伴奏。高田三郎：「心の四季」、ラインベルガー：「スターバト・マーテル」を演奏。
	2. 富永睦子&横溝聡子ピアノデュオリサイタル	共	2017年 10月1日 10月5日 10月16日	郡山女子大学建学記念講堂／福島県 仙台銀行イズミティ21／宮城県 品川区立総合文化会館きゅりあん／東京都	2台ピアノリサイタル。バルトーク：「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」他4曲を演奏。(3会場で演奏)

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
南川 肇	(学術論文)				
	1. 音楽科実技科目におけるルーブリック評価の導入 (査読付)	共著	2018年2月	郡山女子大学紀要第54集	音楽科実技演奏のルーブリック評価を従来通りの評価と比較し、評価の可視化や在り方について考察を行った。「共著者：横溝聡子、磯部哲夫、南川肇、深谷登喜子」
	(その他)				
	1. 札幌交響楽団シンフォニックプラス	共	2017年5月14日	札幌コンサートホール	平成29年度吹奏楽コンクール課題曲他。
	2. TCP蔵王キャンプ	共	8月10～15日	蔵王アストリアホテル	モーツァルト 交響曲第1番他。
	3. TCP第35回定期演奏会	共	9月19日	東京文化会館小ホール	エルガー、弦楽セレナーデ他、コントラバスクラリネットを担当
	4. バルトの楽園上映会	共	9月30日	会津風雅堂	市民オーケストラ、合唱団を指揮しベートーヴェン、交響曲第9番「4楽章」を演奏。
5. チャペルコンサート	共	2018年2月23日	郡山中央公民館	ベートーヴェン、クラリネット3重奏曲他。	
6. TCP「春のスペシャルコンサート」	共	3月31日	ノナカ・ミュージックハウス 6Fアンナホール	モーツァルト デイベルティメント他。	
野沢 謙治	(著書)				
1. 岩谷巖『日記』	共著	平成30年3月	石陽史学会	明治5年から明治16年の日記の校訂	

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(その他) 1. はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト成果展 トークイベント「福島祝いの膳 土地の恵み、人の知恵」の講師 2. 放送大学公開講演「海・魚・行商」		平成29年 9月17日(日)	郡山女子大学講堂	東日本大震災と原発事故からの復興を文化的アプローチによって成し遂げようとするプロジェクト展の一環としての食文化プロジェクト
			平成30年2月3日	いわき市ラトフ	いわき地方を含めた東北の海の民俗文化の特質について発表
齋藤美保子	(学術論文) 1. 高濱虚子の洋行－ロンドンでの絵画鑑賞を追体験する－	単著	2017年7月	学術文献刊行会 『国文学年次別論文集』 平成二十四年度版 近代	「郡山女子大学紀要」第48集掲載の同名論文を転載収録。
	(その他) (口頭発表) 1. アンゲルの肖像画に見る服飾	単著	2017年6月	服飾美学会 平成29年度大会 東京家政学院大学	シンポジウム「図像資料を読み解く」のパネラーとして発表した。詳細は『服飾美学』第64号(平成30年3月)に掲載。
何燕生 (福島寅太郎)	(著書) 1. 《正法眼藏》訳注(新装版)	単著	2017年5月	北京／宗教文化出版社	667ページ。初版は早くも売り切れとなり、新装版では誤字脱字やサンسكريット語の一部の表記について修正を加えた。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	(学術論文)				
	1. 禅が哲学に遇ったとき：西田幾多郎と田辺における禅の理解の相違	単著	2017年5月	《比較哲学的理論、方法与实践問題学術研究会論文集》第47-53頁 武漢大学哲学学院	原語は中国語。比較哲学の観点から西田幾多郎と田辺元における禅の理解とその相違を比較検討した。
	2. 近代的な物語における臨済および《臨済録》—方法論的考察	単著	2017年6月	《“臨済録”研究の現在》第549-581頁,京都 禅文化研究所出版	以前国際学会で発表したものの再録。単行本。内容は前年度の目録に記したとおりである。
	3. 仏教是一个“想象的共同体”嗎？：太虚大師仏教革新運動与日本	単著	2017年8月	《人間仏教と中国仏教現代化：太虚大師思想国際学術研究会論文集》,第123-141頁, 中国佛教文化研究所	近代中国仏教の指導者だった太虚と日本との交流について考察した。太虚が理解した「仏教」と日本の仏教者が理解した「仏教」との間にずれがあり、そのずれを「想像の共同体」という概念を用いて、検討した。
	4. 現代化叙事中的臨済以及《臨済録》——一種方法論的省察	単著	2017年10月	《漢語佛学評論》第5輯,第252-273頁,上海古 籍出版社	以前学会で発表したものの再録。中国語の学術雑誌に掲載されるのは初めてである。
	5. 現代中国における“日本佛教”の逆輸入現象について(要旨)	単著	2017年12月	《宗教研究》第91卷, 第204-210頁,日本宗 教学会	日本宗教学会学術大会で発表した研究の要旨。寺院建築・仏像展示・人物交流を中心に論じた。
	6. “人間浄土”在山中：日本東北地区山岳信仰的宗教学分析	単著	2017年12月	《衆力莊嚴,一仏円満：人間浄土与弥勒浄土》(下),第277-289頁,香港菩提出版社	以前国際学会で発表した同名論文の再録。内容は前年度の目録に記載した通りである。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
桑野 聡	(学術論文) 1. ヨーロッパの公園と地域共同体－「市民的公共性」成長のための－提言	単著	2018年3月	『郡山女子大学紀要』第54集 249～259頁	ヨーロッパにおける公園の歴史と社会的機能を①「広場」としての伝統、②近代の都市計画に伴う空間創出、③歴史的遺産の保存・継承、④自然公園から考察し、近代市民社会として日本人が公園をどのように利用すべきかを考えた。
	(その他) 1. 公共図書館の役割の多様化－郡山市図書館協議会「図書館視察研修」に参加して	単著	2018年3月	『文化学科資格課程報告集』第20集 68～69頁	平成30年2月20日に実施された東京の2つの公共図書館（武蔵野プレイス、新宿区立中央図書館）について、施設視察から気付いた公共図書館の役割の多様化について考察した。
會田 容 弘	(学術論文) 1. 「今月の言葉 みちのく東北の国府石器群 越中山遺跡K地点」	単著	2017年5月	『考古学ジャーナル』698 p. 1	越中山遺跡K地点の研究史を簡単にまとめ、今後の研究の方向性を示した。
	2. 「ルロワ=ゲーラン (LEROI=GOURHAN) の話」	山中一郎・栗田薫と共著	2017年10月	『山形考古』第47号 pp. 1-48	山中一郎京都大学名誉教授の最後の講演を文章化し、その講演の学問的意義を解説した。
	3. 「縄文土器の動作連鎖－笹山原遺跡No.16の資料分析を通して－」	柿沼梨沙と共著	2017年11月	『福島考古』第59号 pp. 1-14	笹山原遺跡No.16の縄文時代前期の遺構・土器を動作連鎖概念に基づいて、再配置し、技術学的にその特質を論じたもの。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	4. 「笹山原遺跡No.16第17次発掘調査」	単著	2017年12月	『第31回東北日本の旧石器文化を語る会予稿集』 pp. 3～9	笹山原遺跡No.16の2017年の調査を中心に後期旧石器時代前半期尾第3石器集中地点の人間行動を動作連鎖概念に基づき、再現し、論じた。
	5. 「2017（平成29）年度文化学科考古学発掘実習報告－会津若松市笹山原遺跡No.16第17次発掘調査－」	単著	2018年3月	『文化学科（資格課程）報告集』第20集	笹山原遺跡No.16の2017年の調査を詳細に報告した。特に堅穴住居の廃絶過程について詳細に記述した。
	（その他） 口頭発表 1. 「焚火周辺の旧石器人の活動－会津若松市笹山原遺跡No.16の調査成果から－」	単独	2017年10月1日	2017年東北史学会大会（於：東北大学）	後期旧石器時代前半期の笹山原遺跡No.16第3石器集中の焚火周辺の人間行動について、民族資料を援用し、皮なめし作業仮説を提示した。
仲田 佐和子	1. 平成29年度博物館実習報告	単著	2018年3月	『文化学科（資格課程）報告集』第20集	博物館学外実習7施設の報告を考察し、次年度の博物館実習授業を展望した。
	（その他） 1. 企画展「発掘ガール 一心不乱」	会津若松市歴史資料センター (まなべこ)と共同	2017年11月3日から12月3日	会津若松市歴史資料センター（まなべこ）	会津若松市笹山原遺跡の調査成果を市民に広く紹介することを目的に、博物館実習の展示実習の一環として企画展を行った。
佐藤 愛未	（学術論文） 1. 幕末期会津藩の富国強兵構想と海認識の変化－蝦夷地活用と加増地問題－	単著	2018年3月	松尾正人編『近代日本成立期の研究』地域編、39～62頁、岩田書院	陸奥国会津藩の幕末期における軍事政策や財政問題などを中心とし、藩政再建をいかに構想していたのかを検討したものである。

氏名	著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
	2. 史料紹介・阿部正功と戊辰戦争殉難者招魂祭について—明治十七年の白河紀行—	共著	2018年3月	『中央史学』、中央史学会	陸奥国旧棚倉藩主阿部正功が、明治17年（1884）に白河で実施された、戊辰戦争殉難者鎮魂祭の際に記した日記「白河紀行」を史料翻刻し、紹介した。
	(その他)				
	1. 大多喜藩明善堂の歴史	単著	2017年4月	『伊北のまほろば』第20号、大多喜町文化財保護協会会報	上総国大多喜藩（現在の千葉県夷隅郡大多喜町）が設立した藩校「明善堂」の歴史について、近世の教育や安積良斎との関係と併せて紹介した。
	2. 平成29年度地域文化論概要報告	単著	2018年3月	地域文化論集第3集「郡山再発見」	本年度実施した「地域文化論Ⅰ・Ⅱ」の講義概要について報告した。
	3. 福島県歴史資料館友の会講座「幕末会津藩の自藩警衛政策と南山御蔵入地」	単独	2018年2月4日	福島県歴史資料館	陸奥国会津藩の幕末期における南山御蔵入地をはじめとする、自領の警衛体制整備の流れとその要因について紹介した。

## 【社会活動】

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
関口修	医療法人安積保養園 あさかホスピタル	理事 事業計画、収支予算に関する検討
	一般財団法人短期大学基準協会	理事長 短期大学教育活動等についての総合的な評価、教育研究水準の向上、質的充実を図る
	日本私立短期大学協会	会長 私学の特質を保持しつつ、会員相互の協力により私立短期大学の自主性、公共性を高め健全な発展に寄与
	私立短期大学教育振興会	会長 短期大学の法制面での経常費補助金確保等対応
	全私学連合代表者会議	短期大学 代表 全私学の振興、諸施策等について協議
	日本私立学校振興・共済事業団運営審議会	委員 私立学校の教育、充実、向上、その経営の安定及び福利厚生を図るため、補助金の交付、資金の貸付援助に必要な業務に資す
	日本私立大学協会 全 東北支部	評議員 理事 私立大学教育、学術研究の発展、振興に関すること
	福島第一原発事故被害のため原発被害福島県私立大学・短期大学連合会	顧問 福島県内の私立大学、私立短期大学の連携を図り、高等教育の振興に資す
	一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議	顧問 オリンピック・パラリンピック教育の推進、大会機運の醸成等取組を進める

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
影 山 彌	郡山市情報公開審査会	委員。 郡山市情報公開制度の運用状況全般や、公文書一部開示決定に係る異議申し立てについて審議し答申をまとめる。
	郡山市個人情報保護審査会	委員。 郡山市民の個人情報の保護に関して広く審議する。
	家政学原論部会東北・北海道地区委員	当地区大学における家政学原論研究を振興し、家政学の学問的確立を促進する。
石 堂 常 世	日仏教育学会 名誉会員	日仏教育学会の創設以来、35年間理事、うち25年間事務局長兼理事、会長3期9年を務め、平成27年度研究大会をもって会長退任。平成28年1月から名誉会員（会長経験者）。今年度も研究大会（総会・日仏教育シンポジウム）をはじめ、フランス人学者招聘など全面的バックアップ
	公益財団法人 日工組社会安全研究財団 評議員	日本社会の治安維持、犯罪予防、少年非行防止を目的に、当該領域にわたる研究助成を目的とする公益財団法人。評議員会出席、研究助成金審議、全国小学生公募（読売新聞社）「わたしたちのまちのおまわりさん」作文コンクール表彰式。後援：内閣府、警察庁、文部科学省等
	早稲田大学社会安全政策研究所 招聘研究員	本研究所の創設時より犯罪防止、少年非行防止、社会安全施策に関する共同研究（とくに子どもの問題行動をめぐる学校、教育委員会の防止体制・連携）に携わり、共著、論稿をものしてきた。現在、早稲田大学名誉教授だが、本研究所招聘研究員として、研究会・シンポジウムに出席している。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
一般社団法人 福島県医療福祉関連教育施設協議会 副理事長	一般社団法人 福島県医療福祉関連教育施設協議会 副理事長	平成28年4月にボラリス保健看護学院を拠点機構として発足した医療・福祉・介護・食品等の隣接領域を相互連携させた人材育成のための協議会。本協議会副理事長として企画運営・実施に関わる。郡山市の大学、10専門学校、1高校がメンバーとなって発足、今日までに県北と会津の医療看護系教育機関も加盟している。今年度も加盟校からの参加学生を得て夏に2回の研修会を開催。本学参加学生は6名。尚、県内高校生への進学相談会も開催している。本学ブースには栄養士希望の高校生が多い。
郡山市都市計画審議会 委員	郡山市都市計画審議会 委員	市長の諮問に応じ都市計画に関する事項（土地利用・都市施設・市街地開発事業・地区計画等）を調査審議する審議会。都市計画見直しプラン策定に参加し、平成30年2月16日まで2期4年間にわたり委員として審議に加わった。
郡山市環境審議会 委員	郡山市環境審議会 委員	市の環境保全に関する基本的事項等について調査や審議を行うための市長の諮問機関。「郡山市第二次環境基本計画年次報告書 郡山の環境」の審議をするなかで、「ひとと自然にやさしい持続可能なまち」づくり施策について計画の具体化に提言を行った。平成30年3月まで2期4年にわたる審議を通し、市の環境の現況と各種施策点検・評価・見直しに参加した。
郡山市教育委員会 大学生ボランティア事業推進委員	郡山市教育委員会 大学生ボランティア事業推進委員	郡山市教育委員会が平成27年度に開始した「地域を生かした教育環境パワーアップ事業」に本学代表として参加。市内の公立小・中学校の子どもたちの学習支援ボランティア参加活動を学生に勧め、指導、検証した。同僚の佐久間邦友講師の協力を得て、3年目の今年は18名の参加者を得た。平成30年3月20日に教育委員会にて総括会議、次年度も継続の見込み。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	小学校道徳科教科用図書採択に係る 地区協議会委員	平成30年度から小学校で使用が始まる新教科「道徳」の教科書選定は全国自治体の教育委員会にとって重要な仕事であった。当方は前職場の早稲田大学において44年間にわたり教職課程の道徳教育研究を担当してきた経緯から、道徳の学習指導要領や副読本にも精通しており、本件に関して教育委員会のお役に立つことができた。
	きたかた応援大使（市長任命） （旧喜多方ふるさと大使）	きたかた応援大使制度は、喜多方市の魅力を全国に発信し、市のイメージアップや産業・観光および教育文化の振興など、市の活性化を図るため設置された制度。任期は当初2年、現在4年。名称に若干の変更はあったが創設年度より委任されて14年になる。平成29年6月12日きたかた応援大使新規委嘱。同10月に喜多方市役所大会議室で応援大使と市幹部職員との意見交換会があり、分科会でも市の活性化に関する意見を提示した。
	喜多方市地域創成市民会議 委員	平成29年10月、市民選出委員として本会議に加わる。(1) 総合戦略事業の効果検証について (2) 平成28年度「まち・ひと・しごと」創生基金(29事業)の事業評価を行い、同市の現況、課題、将来性を検討した。
	喜多方市美術館運営協議会 委員	喜多方市美術館は常設展示はないが企画展中心の美術館で、地域に密着した美術館として存在価値を有している。郡山女子大学にもふるさとのイメージ展の入選作品を貸し出したことがある。美術館運営は市の教育委員会の管轄下にあるが、平成29年9月から市民選出委員を委嘱された。
	全国私立大学教職課程協議会への参加 （全私教協）	5月20日、21日に玉川大学で行われた全国私立大学教職課程協議会に出席し、佐久間講師と共に、再課程認定の情報収集をした。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	東北地区私立大学教職課程研究連絡協議会 秋季大会 開催幹事・世話人	平成28年度秋季大会開催担当大学は福島県の加盟大学ということに決定しており、日本大学と郡山女子大学が担当することになった。教職課程履修者が100名を超える日大に企画コーディネーターを依頼したが、その補佐は初めから当方に廻ってきた。さらに実践報告や討論の司会、総括も当方の担当となった。会場はダイワロイネットホテル会議室で、新学習指導要領で提唱する「主体的・対話的学び」をシンポジウムテーマとした。東北地方の20大学から教職課程担当教職員が参加し、盛会となった。
	教員養成開発連携機構（文部科学省国立大学改革強化推進補助金事業）の研究発表会参加	平成29年12月9日、教員養成開発連携機構（東京学芸大学教員養成開発連携機構センター）が取り仕切るHATOプロジェクト最終年度報告シンポジウム（於：一橋講堂）に本学代表として参加した。国立の教員養成系4大学間連携による教員の高度養成支援システムの構築をめぐる6年間の助成金共同研究の成果研究報告会であり、これからの大学と教員養成について、課題と可能性と、および他の国立大学における教員養成刷新に関する研究報告が行われた。本学での教員養成体制について、今後に向けた抜本的再構築の必要性を痛感した。
武 井 玲 子	平成28年度こおりやま女性の活躍推進ネットワーク会議	郡山市の関係団体・企業等の情報交換を通じ、女性活躍を推進
	郡山市廃棄物減量等推進審議会委員	郡山市の一般廃棄物処理基本計画策定やゴミ処理の各施策について審議提案
	（一社）日本家政学会色彩・意匠学部会（役員）	研究者間の共同研究推進、交流を通して、色彩・意匠学の学術研究成果を高め、家政学の発展に寄与
山 形 敏 明	市民講座「暮らしの1ページ」	7月22日（土）人間生活学科主催市民講座の講師を務める。
	放送大学面接授業	12月16日・17日（土・日）放送大学自然と環境「雪と建築」の講師を務める。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
安田純子	福島県留学生交流推進会議運営委員会運営委員	留学生交流事業協力、運営委員として会議等の出席
	郡山市国際交流協会運営委員会委員	郡山市における国際交流事業の推進協力、運営委員として会議等の出席
難波めぐみ	福島県文化振興審議会	委員 本県の文化振興を図るため、文化振興審議会が設置され、本県の文化振興の在り方等について審議
	郡山市技能労働者選考委員会	委員 技能を通じて永く市の産業発展に貢献した卓越技能者の選定及び表彰
	日本家政学会 色彩・意匠学部会	委員 部会のHP作成担当
	名倉地域公民館主催事業	生涯学習講座「日本の歳時記を見直す」企画・運営の協力
	福島中央テレビ番組審議委員会	審議委員 福島中央テレビ（FCT）課題番組を合評
石原正道	平成29年度KGCサマーリフレッシュプログラム （教員免許状更新講習）	教員免許状更新講習の講師として、選択必修領域I・情報（教育の情報化）のI・II時限を担当した。
	教育学術充実協議会（第2部）登録委員	教育学術充実協議会・第2部学術研究充実部会における本学からの登録委員の役割を担った（2017年11月登録申請）。
熊田伸子	郡山市地域福祉計画策定委員会	委員 第3期郡山市地域福祉計画の策定に携わった
	福島県介護サービス苦情処理委員会	委員 福島県国民健康保険団体連合会で受付けた介護サービスの苦情・相談について、対応を審議した
	郡山市介護保険運営協議会	委員（副委員長） 第七次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の策定に携わった

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市地域密着型サービス等運営委員会	委員 郡山市における地域密着型サービス等の整備状況、地域包括ケアシステムの構築について協議した
	社会福祉法人郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画策定委員会	委員（副委員長） 郡山市社会福祉協議会第4次地域福祉活動計画の策定に携わった
	郡山市安全で安心なまちづくり推進協議会	委員 市民の安全・安心な生活のため、地域の実情を分析、その対応を協議した
	本宮市保健福祉行政推進協議会	委員 第5期本宮市障がい福祉計画・第1期障がい児福祉計画（案）について協議した
	社会福祉法人くわの福祉会	監事 当法人の業務執行状況について監査を行った
	社会福祉法人 桜ヶ丘福祉会	理事・評議員
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力
	郡山女子大学人間生活学科主催 市民講座「暮らしの1ページ」	「自分を活かし、地域を支える」をテーマに福祉コースの講演を行った（平成29年7月22日）
堀 琴 美	福島県立医科大学ハラスメント対策委員会	委員 ハラスメントの調査確認およびその対応についての審議、ハラスメント防止に関する審議、規約改正等の審議等。
	郡山市男女共同参画サポート事業 さんかく教室（郡山市主催）	講師 郡山市の男女共同参画推進をサポートし、市民への啓発を行う出前講座で「DV・虐待の被害者支援」を担当。
	白河市すこやか相談会（白河市主催）	相談員 児童の発達に応じた保育および教育への適切な支援を行うための相談会およびフォローアップ事業でアドバイザーを担当。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市保育施設設置者向け研修会（郡山市主催）	講師 潜在保育士の就職支援と人材確保のための「施設設置者向け研修」で、アサーション（コミュニケーション技術）の講習を行った。
	放送大学福島学習センター	卒業研究指導教員 心理学関連の卒業研究をする学生への指導を行った。
阿 部 恵利子	平成29年度郡山女子大学サマーリフレッシュ講師	平成29年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許更新講習）選択領域の講師を務める。2017年 8 月
廣 野 正 子	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業企画・運営の協力
	平成29年度東北ブロック会教員研修会福島大会実行委員会 実行委員長	東北ブロック会介護福祉士養成校の教員を対象に、資質向上と介護福祉士養成の展望と課題について研究協議を行う研修の企画・運営を行う。
	平成29年度郡山女子大学サマーリフレッシュ（教員免許状更新講習会）	教員免許更新講習の講師として、選択領域⑨家庭Ⅰ（家庭・福祉と家庭経営）で「より良く生きる福祉の力～アロマセラピーで生活の質を高める～」について講義及び演習を担当した。（平成29年7月31日）
	福島県医療福祉関連教育施設協議会第1回研修会	県中医療福祉関連教育施設8校の学生を対象に、アロマセラピーの効果について、医療・介護の現場での実践報告や自然療法ならではの相乗効果について講義をした。（平成29年7月15日）
	放送大学福島学習センター面接授業 「生活の質とアロマセラピー」	アロマセラピーの基礎知識と、さらに生活支援が必要な介護現場でのアロマセラピー実践方法について講義し、日常生活への取り入れ方について演習を行う。（平成29年11月11日・12日）
Daniel O. Horner (ダニエル・ホーナー)	Koriyama Junior High Schools' English Oratorical Contest Committee	Chief judge of the English speech contest. My duties are to annually reside over the speech contest as the chief judge, and to advise the committee on ways to promote and ameliorate this oratorical contest.

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	Miharu Junior High Schools' English Oratorical Contest Committee	Chief judge of the town's English speech contest. My duties are to annually be the chief judge. I am also involved in recruiting judges for the contest and advising the students on ways to become better public speakers.
	Sanbora Committee for Improving Education	As a member of this volunteer coordinator society since 2003, I have helped by inviting outside learning supporters, local people and experiential learning volunteers. With the support of these guests and teachers, more specialized experience learning has been developed, and the quality of learning of children is constantly being improved. I have also volunteered as a lecturer on American culture and English literature for the elementary students.
長 田 城 治	日本建築学会東北支部歴史・意匠部会 委員	歴史的建造物の調査、建物の保存計画や要望書の提出、各種講演活動などの運営に委員として携わった。
	日本建築学会民家小委員会 委員	民家に関する文献やフィールド調査およびシンポジウムなどの開催による研究成果の報告などを行った。
	福島県国見町「国見町歴史的風致維持向上計画」調査員	「国見町歴史的風致維持向上計画」（文部科学省・農林水産省・国土交通省認定）で策定した歴史的風致維持向上に関する事業の中で、国見石の保存・活用調査事業を担当し、国見石に関する採掘や石切り場の調査および歴史的建造物の文化財への指定、国見石に関するイベントの企画・運営に関わった。
	高畠石の会 顧問	「高畠石の会」（山形県高畠町）の顧問として、高畠石に関する調査活動や高畠石の広報活動を行った。
	国登録有形文化財旧高畠鉄道駅舎等保存活用計画策定準備委員会 委員	旧高畠駅舎の保存・活用計画を策定する準備委員会に学識経験者として任命を受け、策定計画に携わった。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	国見町文化財保護審議会 委員	国見町文化財保護審議会の委員として、同町文化財の指定・解除等の審議および文化財的価値の精査を行った。
	放送大学放送大学福島学習センター面接授業	面接授業「日本建築史にみる建物の見方」を実施した。
	受託調査事業：飯坂温泉・内湯旅館青葉に関する建物調査	飯坂温泉・内湯旅館青葉について各種調査を実施し、建物の歴史的・地域的価値をまとめた所見の執筆を行った。
	受託調査事業：国見町における石造建造物・石造技術調査	「国見町歴史的風致維持向上計画」事業の一環で、国見製菓の石造郷倉3棟の実測調査を実施し、図面類と所見を製作した。
	受託調査事業：国登録有形文化財「旧高畠駅舎群」建物測量・調査	国登録有形文化財「旧高畠駅舎群」4棟の建物について実測調査を実施し、図面類を製作した。
	講習会：平成29年度ヘリテージマネージャー育成講習会講師	講演発表「国見町石造建造物調査報告書について」主催：福島県歴史的建造物保存活用促進協議会
	講演会：歴史と文化を活かした町づくり講演会「歴史的な建物（旧駅舎）を護り、活かす」	講演発表「旧高畠駅舎の価値とミドコロ」主催：高畠町教育委員会
	座談会とフィールドワーク：国見のお宝再発見 石工フェスin石蔵	文化遺産活用イベント「石工フェス」（国見町）の中で、「石工さん大集合！石工の技術と国見石の魅力」と題した座談会で講演発表を行い、司会進行を行った。また「今しか見られない！国見石の石切り場と石蔵ツアー」のツアーコンダクターを担当し、石切り場を案内した。主催：国見町、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 後援：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社 協力：JAふくしま未来、郡山女子大学人間生活学科生活総合コース、福島県瓦工事組合連合会青年部

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	体験イベント企画・運営：国見のお宝再発見 石工フェスin石蔵	国登録有形文化財に認定された旧小坂村産業組合石蔵を会場とする国見石に関するイベントの企画・運営に携わった。主催：国見町、郡山女子大学人間生活学科建築デザインコース 後援：国見町、国見町教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社 協力：JAふくしま未来、郡山女子大学人間生活学科生活総合コース、福島県瓦工事組合連合会青年部
佐久間 邦 友	日本教育事務学会	理事 平成27年12月から現在に至る。
	日本学習社会学会	幹事 平成28年9月から現在に至る。
	郡山市教育委員会	平成29年度4大学協定における大学生ボランティア事業推進委員
	東北労災看護専門学校	非常勤講師 「教育学」を担当
	郡山看護専門学校	非常勤講師 「教育学」を担当
	日本大学工学部	非常勤講師 「教育制度論」を担当
	国立教育政策研究所	次世代の学校総合プロジェクト「マネジメント機能強化に関する研究班」のメンバー
添 田 祐 司	平成29年度日本介護福祉士会養成施設協会 東北ブロック会教員研修会福島大会	主管校の実行委員として、研修会の企画・運営にあたる。
	本宮市地域連携事業	本宮市高齢者いきいき交流事業の企画・運営協力にあたる。
大 泉 由 美	平成29年度東北ブロック会教員研修福島大会 実行委員	大会の実行委員（会計）として、大会運営に携わった。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
紺野信弘	郡山市あさかの学園大学	講師：「生涯学習講座」
	日本衛生学会	評議員として会の運営に協力
藤原建樹	公益財団法人てんかん治療研究振興財団	理事として財団の運営に関わった
西山慶治	福島県立医科大学倫理委員会専門部会員	福島県立医科大学で実施する臨床試験研究に対する倫理審査の職務を2年間担当する。
	第37回人体解剖トレーニングセミナー	名古屋大学医学部で開催のセミナーで、医療系大学や養成校の解剖学の教官に対して人体解剖実習を指導した。
	福島県立医科大学で人体解剖学の講義と実習指導	非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義と実習をそれぞれ1回と4回実施した。
	金沢大学での医学部解剖学の特別講義とその後の解剖実習の指導	非常勤講師として医学部2年生に解剖学の講義と実習を1回担当した。
	仁愛看護福祉専門学校並びに仁愛高校専攻科（会津若松市）で解剖学の講義と実習の指導	非常勤講師として看護学の学生に解剖学の講義と実習を行った。
楢野信子	調理師試験予備講習会	講師：県南調理師会主催。調理師試験受験予定者を対象に、調理師試験対策のための予備講習を行った。
	郡山市食育推進協議会	会長：郡山市食育推進計画の進行状況、その他食育の推進に関すること等について会務を総理した。
	量子放射線利用普及連絡協議会	構成員：一般社団法人 日本原子力産業協会主催。量子放射線利用の理解促進及び放射線教育の普及、充実のために、国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構次世代作物開発研究センター 放射線育種場（ガンマフィールド）の見学を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	秋の大試飲会	福島県南酒販株式会社主催。主催者とのコラボ企画で、郡山女子大学ブース「あなたの生まれ月をテキーラで！ウイスキービギナーのための963スイーツ」を出展した（於、ホテルハマツ）。
	アサヒビール園メニュー共同開発（第7弾）	ビール園にて提供するメニューとして、成人女子学生が考案した福島県産品を使用した新メニューについて、共同開発に携わった。
	「天のつぶ」生産者コンクール最終審査会	審査員：福島県オリジナル米「天のつぶ」の生産者コンクール最終審査会において、食味官能試験により、最優秀賞および優秀賞を決定した。
関 口 晋	日本私立短期大学協会 運営問題委員会 公益財団法人郡山市観光交流振興公社評議員会	私立短期大学の管理運営や教育制度等に関する研究 地域社会の発展と潤いのあるまちづくりに寄与することを目的とし、民間非営利部門の活動の健全な発展を推進するとともに、それまでに公益法人制度に見られる様々な問題に対応する。
菊 池 節 子	福島県県中農林事務所 郡山市地域福祉計画策定委員会 「郡山市子どもの心と体の発育見守り事業」 調査研究委員会 福島県きのご料理コンクール	普及指導協力委員 福島県県中農林事務所管内の農作物等の普及について、6次化開発などを通しての検討等に携わっている。 委員 郡山市の地域福祉計画策定案の検討等に携わっている。 調査委員 郡山市震災後子どものケアプロジェクト主催調査研究委員会において、子どもの生活習慣の実態把握調査並びに対応策の検討に携わっている。 審査委員 第2回福島県きのご料理コンクールに係る一次審査ならびに本審査において、審査員を務めた。（平成29年10月25日・11月23日）

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成29年度郡山市こども総合支援センター委託事業 「子育て講座」	講師 2歳以上の幼児の保護者を対象に、「朝ご飯の大切さ」「よく噛むことの大切さ」の講話を通して、幼児期の食生活の重要性について認識してもらった。(平成29年5月29日・6月12日)
	学校法人石川義塾中学校食育講演会	講師 中学生の保護者を対象に、成長期に特に必要な栄養素であるカルシウム、鉄の重要性ならびに有効な摂取方法について紹介した。(平成29年7月7日)
	平成29年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会)	選択領域家庭科講師 教員免許状更新講習会受講生を対象に、「鉄分摂取を考慮した松花堂弁当」のテーマで、鉄分摂取のコツ、調理の工夫と実践等について、講義と実習を通して紹介した。(平成29年8月2日)
	郡山市桃見台地域公民館主催事業 「トライキッズスクール」	講師 小学生を対象に、「夏のこだわりクッキング」の体験活動を通し、心身に共に健やかな青少年の育成を促す企画に携わった。(平成29年8月7日)
	郡山市薫地域公民館主催事業 「げんきっ子くらぶ」	講師 小学生を対象に、食に対する体験活動を通じて、料理への興味関心を引き出し、食の大切さを知り、学ぶことの楽しさや達成感を味わってもらう企画に携わった。(平成29年9月24日)
	郡山市薫地域公民館主催事業 日本の季節を彩る「歳時記」	講師 昔から受け継がれてきた日本の心と美しい季節の慣わしを大人と子どもが共に学び、次世代へ伝え残す企画に携わった。(平成29年11月12日)
	郡山市桃見台地域食生活推進委員会主催事業 カルシウム摂取を意識した「チーズ料理のいろいろ」	講師 現代社会において摂取不足のカルシウムを、楽しく、手軽に摂取するための方法としてチーズのおいしい食べ方を紹介し、地域住民の健康増進に寄与した。(平成29年11月19日)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	一般社団法人栄養改善普及会主催 平成29年度 食品と栄養のミニ移動教室 『元気のみなもと小麦粉パワー』	講師 栄養三色と小麦粉の正しい知識を学び、調理実習を通し、食生活をより豊かなものにするために、大学生、一般消費者（親子）を対象に開催した。（平成29年11月22日）
	平成29年度食物栄養学科セミナー	講師 「会津の食文化」と題し、会津地方の伝承料理「つと豆腐」「つむじかえり」「すし漬」の地域別認識・喫食度、呼称、喫食時期・方法、調整法、特徴、風習などを、以前の調査結果から紹介した。（平成30年2月21日）
	JA福島さくら農産物6次化事業 「あさか舞と地元農産物を使用した弁当の製作」	郡山女子大学食物栄養学科学生考案「あさか舞弁当」市販にむけて、JA福島さくらとの共同開発に携わった。
	いきいき健康づくりフォーラム企画弁当	県立医大健康増進センター主催フォーラムでの、郡山女子大学食物栄養学科学生考案「健康弁当」販売にむけて、(株)山際食彩工房との共同開発に携わった。
	「新酒まつり」(ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2018 実行委員会主催)	ウィンターフェスタ IN KORIYAMA 2018 実行委員会主催の新酒まつりにおいて、郡山女子大学推奨おつまみのサイドメニュー提供に協力した。
	日本家政学会 食文化研究部会	東北・北海道地区委員として会の運営に携わっている。
	日本調理科学会	代議員として会の運営に携わっている。
	公益社団法人 福島県栄養士会	常務理事として会の運営に携わっている。
	第4回日本栄養改善学会東北支部学術総会	実行委員会委員として、学会運営企画等に携わっている。
岡 部 聡 子	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、5月と10月に配布した。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	<p>附属高等学校卓球部「からだを創るアスリート食～貧血を予防するコツ～」</p> <p>郡山市総合地方卸市場運営協議会委員</p> <p>精神科クリニックデイケア勉強会 「デイケアメンバーのロコモ度調査結果報告」</p>	<p>附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。</p> <p>協議会委員として年数回行われる会議に参加した。</p> <p>昨年度実施した精神科クリニックにおけるデイケアメンバーのロコモ度と食事状況調査結果についてクリニックの全職員向けに結果報告を行った。</p>
先 崎 和 子	<p>更生保護女性会</p> <p>チャレンジふくしま県民運動フェスタ2016</p> <p>須賀川市新栄町町内会健康教室</p> <p>発酵のまちづくり推進事業に係る商品開発等委託業務</p>	<p>会員 地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪をした人や非行のある少年の改善更生に協力する。</p> <p>県民運動フェスタに出展し、健康と長寿～減塩・野菜を食べよう～のテーマで栄養診断と骨密度測定し、自分の骨量を確認し、食事の改善につなげるよう支援を行った。また、簡易貧血検査やフードモデルにより塩分を周知し、野菜摂取の必要性やバランスのとれた食事の大切さを認識する機会となった。(2017.10.14.15)</p> <p>健康教室参加者を対象に生活習慣と食生活に関する調査を実施し、現状を明らかにし、結果報告を行い食と運動の教室を開催した。(2017. 8. 9)</p> <p>小野町産農産物や黒にんにくを使った塩麴入り肉まん・塩麴いりドレッシング商品開発し、小町ふれあいフェスタ会場内にて試食を提供し、発酵のまちづくり推進に寄与した。(2017.10.29)</p>
亀 田 明 美	<p>つながる食育推進委員会</p> <p>三春町立三春中学校・つながる食育推進事業推進委員会</p>	<p>委員：福島県教育委員会主催の、つながる食育推進事業に、委員として携わった。</p> <p>委員：文部科学省平成29年度つながる食育推進事業の指定を受けた、三春町立三春中学校の食育推進に委員として携わり、生徒の栄養摂取量調査・料理教室等に協力した。</p>

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山市中学校給食会運営委員会	委員：郡山市中学校給食会運営委員会に出席し、給食の年間実施回数、給食費、給食用食材選定等の給食運営に関する協議を行った。
	県中圏域子どもの食を考えるネットワーク会議	委員：福島県県中保健福祉事務所主催、県中圏域子どもの食を考えるネットワーク会議に委員として携わり、子どもの食育に関する取組について協議を行った。
	善郷小学校区教育講演会	講師：矢吹の教育を考える会、善郷小学校PTA、矢吹町青少年健全育成推進会議矢吹地区推進協議会主催の教育講演会において、子どもの頃からの食育の重要性について講演を行った。
	郡山市学校給食調理員研修会	講師：郡山市教育委員会主催の郡山市学校給食調理員研修会において、学校給食の調理のポイントと衛生管理について講演を行った。
	平成29年度地域でつながる家庭教育応援事業フォローアップ研修会	講師：福島県教育委員会主催の家庭教育応援事業フォローアップ研修会において、こどもの食育を地域で支援することの重要性や、先進的な取り組みをしている地域の事例を紹介する内容の講演を行った。
	公益社団法人郡山青年会議所主催事業	運営協力：公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山未来シティー」の運営に協力した。
	郡山市総合地方卸売市場主催事業	運営協力：郡山市総合地方卸売市場主催事業「開場15周年記念市場まつり」の運営に協力した。
源 川 博 久	第三次郡山市食と農の基本計画策定に係る有識者検討会委員	第三次郡山市食と農の基本計画策定に係る素案の検討
影 山 志 保	FCT取材協力「食中毒」ゴジてれChul	梅雨に入り細菌の食中毒が増加するが、特に弁当を作る上で注意すべき点を解説した。(平成29年6月27日)
	受託研究「氷感庫を用いた農産物の保存に関する研究」	(株)氷感との共同研究で、食材の保存と熟成をコントロールする要件について研究している。(平成29年4月1日から現在に至る)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	水未来基金水環境保全活動事業「猪苗代湖裏磐梯湖沼地域の水質調査と生息生物観察会」	福島県水大気環境課による裏磐梯湖沼地域研究予算を用い、裏磐梯の水質調査と生息生物観察会を実施した。(平成29年4月1日から現在に至る)
	福島県／郡山女子大学連携事業(日本原子力研究機構協力)「放射線除染による環境再生について」	福島県と郡山女子大学、日本原子力機構によるWBC車による内部被ばく測定と、震災以降の郡山女子大学の放射線に関する取組について発表した。(平成29年10月7・8日)
	ふくしま復興再生可能エネルギー産業フェア2017出展	郡山開成学園環境委員会活動の一環として、学園の太陽光発電設置状況等の取り組みを発表した。(平成29年11月7・8日)
	独立行政法人国立環境研究所環境リスク研究センター 客員研究員	国内大気汚染状況について、遺伝毒性の視点からのリスク評価を担当した。(平成29年4月1日から現在に至る)
坂 野 史 明	日本血栓止血学会代議員 農業体験・研修農園整備遊休農地活用推進事業	代議員として学会運営に携わった。 JA福島さくらと連携して遊休農地でのブルーベリー樹木の剪定、収穫、管理を行った。
佐 藤 浩 明	福島県体育協会 少年女子福島選抜バレーボールチーム監督	福島県選抜のバレーボールチームのスケジュール、練習等を管理する。試合等での戦術等も行う。
郡 司 尚 子	かつらおサークルミーティング チャレンジふくしま県民運動フェスタ 平成29年度 第14回 食物栄養学科市民フォーラム	葛尾村と郡山女子大学、東北大学大学院農学研究科、日本大学工学部を中心とした復興支援、地域連携の取り組みを検討・実施。 チャレンジふくしま県民運動推進協議会主催。「健康と長寿～減塩・野菜を食べよう～」をテーマに、出展。(2017.10.14～15) 講師：食物栄養学科主催。食を通じた地域連携～葛尾村の事例報告～にて、「葛尾村でのじゅうねん(エゴマ)の栽培と商品開発」について講演を行った。(2018. 2.10)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
長谷川 貴 弘	平成29年度 勤労青少年ホーム 「ナイトカレッジ (冬)」	講師：郡山市中央公民館勤労青少年ホーム主催。「知らないと損する経済のお話」というタイトルで、市民を対象に経済の基礎や現在の状況について講演を行った。
	平成29年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習会)「経済と家庭経営」	選択領域家庭科講師：教員免許状講習会受講生を対象に、ライフステージの変化に伴って、家庭経営と経済の状況にどのような変化が現れるかについて紹介した。
	郡山看護専門学校	非常勤講師：「家族社会学」を担当。
黒 澤 廣 子	福島県糖尿病療養指導士会	平成29年6月25日 第10回福島県糖尿病療養指導士会講習会講師
	福島県栄養士会	平成29年7月29日 福島県栄養士会県南支部生涯教育講師
	〃	平成29年11月25日 福島県栄養士会県南支部生涯教育講師
食物栄養学科 4年生5名	第16回福島県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成29年7月27日～7月29日 郡山市「少年湖畔の村」 調理補助ボランティア
善 方 美千子	特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会	理事 福島県における生涯スポーツの普及や、子どもの体力向上を目指し、事業内容の推進と、学生の参画について協力。 (任期2016.7.1-2018.6.30)
	平成29年度「大学と国立那須甲子 青少年自然の家との連携促進会議」	独立行政法人国立青少年機教育振興機構に関わる教育ボランティア活動において、自然の家と大学の連携協議会に出席、および学生の参画に協力。(2018.1.9 東京第一ホテル新白河)
	福島県・農都交流事業におけるスキル アップセミナー	講師 首都圏企業と県内農山村地域の交流事業であり、郡山市逢瀬町いなか体験交流協議会および町民を対象に「地元野菜・食材を用いた料理づくり」を実施。(2018.2.11 逢瀬町公民館)
横 田 和 子	郡山市総合地方卸売市場開場15周年記念市場まつり における運営協力	運営協力：郡山市総合地方卸売市場主催事業「開場15周年記念市場まつり」の運営に協力した。平成29年9月17日(土)実施

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山青年会議所主催 郡山未来シティーにおける運営協力	運営協力 : 公益社団法人郡山青年会議所主催「郡山未来シティー」の運営に協力した。平成29年9月24日(日)実施
	附属高等学校卓球部 「からだを創るアスリート食 ～貧血を予防するコツ～」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。 平成30年2月17日(土)実施
	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、5月と10月に配布した。
本 間 杏 菜	郡山市総合地方卸売市場主催事業	運営協力 : 郡山市総合地方卸売市場主催事業「開場15周年記念市場まつり」の運営に協力した。
	附属高等学校卓球部 「からだを創るアスリート食 ～貧血を予防するコツ～」	附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。
	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、5月と10月に配布した。
石 村 由美子	わくわく子ども大学実行委員会	平成29年8月6日(日)会場: 郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、副実行委員長として企画運営にあたった。また、当日は全体的な運営を務めた。
	2020東京オリンピック・パラリンピック 復興ふくしま推進会議委員	東京オリンピック推進委員として、会議出席及び広報活動の窓口となって学生に情報提供等を行った。
	アカデミアコンソーシアムふくしま理事	アカデミアコンソーシアムふくしまに加盟する県内の16大学・短大が取り組んでいる「大学間連携共同教育推進事業」に係る連絡・協議会運営に係る理事として会議並びに研修会に出席した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	棚倉町農作物・物産物ブランド認証審査委員	棚倉町農作物・物産物ブランド化推進協議会が取り組む、地元農産物・物産物の知名度の向上と全国へのアピールを目的とした、ブランド化へ向けた認証審査委員会の委員長を務めた。
田 辺 真 弓	国際服飾学会	国際服飾学会第18期理事：理事として学会の運営に携わるとともに、『国際服飾学会誌』の編集を担当した。
	公益信託 棚木宇巳子記念奨学育英基金運営委員会	運営委員長：同委員会において郡山市内中学校長から推薦された高校生について審査し、奨学生を選定した。
	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「羊毛フェルトのコースター&空きびんのキラキラスノードーム作り」の講師を務めた。
知 野 愛	(一社)日本家政学会東北北海道支部役員会	道県幹事：日本家政学会東北北海道支部総会の連絡、支部会員名簿整備等の連絡及び作成を他大学の担当者と協力して実施した。
	平成29年度KGCサマーリフレッシュプログラム (教員免許状更新講習)	講師：「少子社会における家族と子育て支援」と題して講義を行った。 (平成29年7月31日)
	株式会社テレビユー福島番組審議会	審議委員：番組の質の向上を目的として課題番組の合評に参加し、家庭支援論の立場から発言した。
	本宮市総合計画審議会	委員：本宮市第二次総合計画策定の審議に参加し家庭支援論の立場から発言した。
古 山 幹 雄	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「タブレットであそぼう2」の講師を務めた。
	放送大学 面接授業 講師	放送大学 福島学習センターにての2017年12月16日、17日の2日間 「超スマート社会の情報技術基礎」のタイトルで面接授業を実施した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
山口 猛	福島県教育委員会 平成29年度「子どもを守る・子どもが守る」 ICTツール適正使用推進事業  わくわく子ども大学	情報モラル講演会及びビクラス討論会の講師を担当した。 5/15会津学鳳高等学校、5/22福島高等学校、5/29須賀川高等学校、 6/9田島高等学校、6/30船引高等学校、7/10福島工業高等学校、 7/13二本松工業高等学校、7/14いわき海星高等学校、9/1遠野高等 学校、9/8葵高等学校、9/22平工業高等学校、10/13原町高等学校  夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、委員会、講師 を務めた。8/6郡山女子大学
阿部 優子	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日 は、体験ブース「タブレットであそぼ♪将来の夢を作品に！わくわく ドリームマップ作成」の講師を務めた。
齋藤 理沙	わくわく子ども大学実行委員会（実行委員）及び体 験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行 委員会では、実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験 ブース「羊毛フェルトのコースター&空きびんのキラキラスノードーム づくり♪」の講師を務めた。
坂上 茂	わくわく子ども大学 体験ブース講師  「長寿いきいき県民フェスティバル」（福島県主催）  海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」  親子クッキング教室「ホームメイドキッズ」	2017年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日 は、体験ブース「にぼしのヒ・ミ・ツ」の講師を務めた。  展示・体験コーナーに「ロコモを調べて予防しよう」のブースを出展し た。2017年10月22日（日）  日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理 教室の講師を務めた。2017年11月19日（日）  （公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開 講座の運営に参加した。2017年2月10日（土）

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	葛尾村地域資源の発掘と応用支援 凍みもちの成分分析	地域連携事業の一環として葛尾村産の凍みもちの主要栄養成分を分析した。2017年4月～
會 田 久仁子	郡山警察署協議会委員	警察法により警察署に警察署協議会が置かれる。管轄区域内における警察の事務の処理に関し警察署長の諮問に応じ、警察署長に対し意見を述べる機関である。委員に委嘱され年に4回開催計画の協議会に出席している。平成29年度協議会副会長を務めた。
	ラジオ福島番組制作協力	月曜朝8時20分からの放送番組「朝から全開！朝ゼミ ビジネスマン講座」の講師を務めた。平成29年5月5回分および11月5回分担当
	わくわく子ども大学講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は体験ブース「せっけんをつくっちゃお」の講師を務めた。
	葛尾村地域復興支援	第2回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。本専攻で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。平成29年8月14日
	健康長寿いきいき県民フェスティバル2017	第1回健康長寿いきいき県民フェスティバル2017において企画の立案と運営に参画した。当日は発表ブース「ロコモを調べて予防しよう」を出展した。平成29年10月2日
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催 郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室で講師を務めた。平成29年11月19日
	JA夢みなみあぶくま石川主催 29年度「食育のつどい」講演講師	JA夢みなみあぶくま石川主催 29年度「食育のつどい」～食と運動で元気な身体をつくろう！～において、「食と運動で元気な身体をつくろう！」と題して第2部講演の講師を務めた。平成30年2月4日
	福島民友紙「知の現場」編集協力	福島民友新聞平成30年2月6日号の記事「知の現場」編集に協力した。
	親子クッキング教室「ホームメイド キッズ」	（公社）フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。平成30年2月10日

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	健院エルキューブ、ランチセミナー講師	「春をあじわいましょう」をテーマにした献立を提供しランチョンセミナー講師を務めた。平成30年3月31日
水 野 時 子	講義「スポーツと栄養」講師	5月8日（火）会場：会津若松市立湊中学校 野球、ソフトテニス、バスケットボールクラブ所属生徒を対象に、スポーツ栄養について講義を行った。
	わくわく子ども大学 体験ブース講師	8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「食品の色を科学しよう！」の講師を務めた。
	講座「健康で豊かな食生活」講師	2月10日（土）会場：橘地域公民館 地域住民に対する社会教育事業の一環として行われている、橘地域公民館主催事業「橘ときめき大学」で講義を行った。
	第4回日本栄養改善学会東北支部学術会議実行委員会委員	平成30年6月23日（土）開催予定の第4回日本栄養改善学会東北支部学術会議開催に向け準備を進めている。
	郡山市震災後子どものケアプロジェクトチーム委員	子どもたちが明るく健やかに成長するための環境づくりに委員として携わった。
	特定非営利活動法人子育て支援コミュニティ プチママン主催『すこやかふくしまキッズ事業』の食事調査内容監修と「栄養のお話」講師	特定非営利活動法人子育て支援コミュニティ プチママン主催「すこやかふくしまキッズ事業」食事調査内容の監修を行った。また、「第3回すこやかキッズプログラム」（2月4日（日）実施 場所：富田西ふれあいセンター）で「栄養のお話」の講師を務めた。
	附属高等学校卓球部料理教室「からだを創るアスリート食～貧血を予防するコツ～」開催	2月17日（土）会場：郡山女子大学 附属高等学校卓球部の部員とその保護者を対象に、貧血を予防して健康的なからだを創る食事作りのポイントについて料理教室を開催した。
	附属高校生対象「食生活だより」配布	望ましい食生活を身に付けてもらうことを目的に、附属高校生に対して「食生活だより」を作成し、5月と10月に配布した。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
武地誠一	わくわく子ども大学実行委員会委員及び 体験ブース講師  葛尾村地域資源の応用支援：ヤマボクチの栽培支援  福島県農業総合センター農業短期大学校 葛尾村地域復興支援	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学  夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「食品の色を科学しよう！」の講師を務めた。  特産の凍み餅の原料である山菜オヤマボクチの放射能汚染の実態と原因を明らかにし、安全な栽培法を実証した。  非常勤講師として「食品製造」を担当した。 第2回葛尾村盆踊りの模擬店運営に協力した。本専攻で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。（2017年8月14日）
小林澄枝	葛尾村地域資源の発掘と応用支援  凍み餅の商品開発  (株)イオンとのお弁当商品開発  福島中央テレビ 高校生向き時短弁当献立 ゴジテレ中放送  福島民友新聞掲載 「凍み餅」でアイデア料理  わくわくこども大学	凍み餅を使って「ふりかけ」「かりんとう」などの調理・工夫を試みた。  凍み餅を作る工程で細くカットし乾燥させ硬さの比較などを行った。 2016年11月10日～現在に至る。  「食」を通して地域社会に貢献することを目的に学生（お弁当サークル）が考えたお弁当メニューの商品化を試みた。第1回販売は、「ふくしま適塩弁当」とし、2日間で100食提供した。 郡山フェスタ2017年2月26日、27日  新学期スタート お弁当提案メニュー（高校生対象）栄養価を損なわない時短メニュー・衛生面を考慮したもの2017年4月20日（木）13時～  葛尾村と連携協定を結んでいる郡山女子大学で凍み餅アレンジ料理の試食会があり、その様子が新聞に掲載された。 試食は、「おやき」「凍み団子入りフルーツポンチ」「凍みスティック」の3種類 2017年7月24日  夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。2017年8月6日（日）会場：郡山女子大学

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	葛尾村地域復興支援	第2回葛尾村盆祭りの模擬店運営に協力した。本専攻で考案した凍み餅を利用した商品を調理し、模擬店で販売した。2017年8月14日
	「海と日本プロジェクト」さばける塾in ふくしま（福島中央テレビ連携）	地域の親子10組を対象に学生12名の協力で魚のさばき方料理教室を開催した。 2017年11月19日
	(株)イオンとのお弁当商品開発 第2回販売	「食」を通して地域社会に貢献することを目的に学生（お弁当サークル）が考えたお弁当メニューの商品化を試みた。第2回販売は「三色おむすび弁当」とし、2日間で120食提供した。 郡山フェスタ2017年12月2日（土）・3日（日）
	公開講座 親子料理教室（第4回） 「ホームメイドキッズ」	公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会の共催で、親子料理教室を開催し講師を務めた。今回のテーマは、魚と野菜のクッキングライブと題して、親子13組、32名を招待し、ボランティア学生14名と共に楽しい時間を共有した。2018年2月10日
	「いきいき健康づくりフォーラム」	公立大学法人福島県立医科大学健康増進センター主催の健康フォーラムにおいて「お弁当サークル」が考案したメニュー内容でお弁当150個を販売した。2018年3月4日（日）ビックパレット
	うめつLS内科クリニック（福島市）	糖尿病専門クリニックにおいて栄養カウンセラーを担当した。（毎月1回）
	福島県立総合衛生学院（福島市）	看護学科 非常勤講師「臨床栄養学総論・栄養学」を担当した。
	ポラリス保健看護学院	非常勤講師として「栄養代謝学」を担当した。
	内閣府 食品安全委員会	食品安全モニターを担当した。
金子 依里香	わくわく子ども大学実行委員会（副運営委員長） 及び体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、副運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「にぼしのヒ・ミ・ツ」の講師を務めた。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	かつらおサークルミーティング	葛尾村と郡山女子大学、東北大学大学院農学研究科、日本大学工学部を中心とした復興支援、地域連携の取組みを検討・実施。(2016年12月～)
	海と日本プロジェクト「さばける塾 in ふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。2017年10月21日
	親子クッキング教室「ホームメイドキッズ」	(公社) フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2017年2月10日(土)
	平成29年度 第14回 市民フォーラム	講師：食物栄養学科主催。「凍み餅の商品化とオヤマボクチの試験栽培」について講演を行った。2017年2月10日(土)
澤 渡 優 喜	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日(日) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
	海と日本プロジェクト「さばける塾inふくしま」	日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室の運営に参加した。2017年11月19日
	父と子の料理教室「ホームメイド★キッズ」 ～さかなと野菜のクッキングライブ～	(公社) フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。2018年2月10日
鈴 木 奈 津 子	公益社団法人 福島県栄養士会	研究教育協議会役員
	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日(日) 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
	親子クッキング教室「ホームメイドキッズ」	平成30年2月10日(土) 会場：郡山女子大学 (公社) フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。
加 藤 雅 子	福島中央テレビ 「高値続く野菜…新鮮さを保つ方法」	情報番組内において、「高値続く野菜…新鮮さを保つ方法」と題して、野菜を長持ちさせる方法を紹介。(平成30年1月18日放送)

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	親子クッキング教室「ホームメイドキッズ」	(公社) フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座の運営に参加した。平成30年2月10日
佐 藤 由 佳	わくわく子ども大学	平成29年8月6日(日)会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は運営補助を行った。
	海と日本プロジェクト 「さばける塾inふくしま」	平成29年11月19日(日)会場：郡山女子大学 日本財団主催、郡山女子大学短期大学部共催で本学で開催した親子料理教室。当日は調理補助等を行った。
	公開講座 親子料理教室 「ホームメイドキッズ」	平成30年2月10日(土)会場：郡山女子大学 (公社)日本フードスペシャリスト協会と共催で開催した地域住民向け公開講座。当日はフードスペシャリストとしてプレゼンテーションを行った。
三 瓶 令 子	全国大学音楽教育学会	副理事長 学会運営と諸議題についての検討
	全国大学音楽教育学会・東北地区学会	顧問 東北支部の運営と、全国学会からの諸問題についての検討と補佐
	社団法人全国保育士養成協議会東北ブロック	理事・監事 東北ブロックの運営と、監事監査
	社団法人全国保育士養成協議会保育士試験 実技試験採点委員	国家試験資格としての保育士試験において、実技試験(ピアノ)試験官として採点を行った。(2017,10,22 12,10)
	郡山市地方社会福祉審議会委員	児童福祉専門分科会会長 同審議会における審議・進行。年に数回開催。
	わくわく子ども大学講師	平成29年8月6日(日)会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的をとし、講師を務めた。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	教員免許状更新講習（サマーフレッシュ）講師	平成29年8月2日（水）会場：郡山女子大学 「音楽で育つ子どもの世界」のテーマで、講師を務めた。
	保育士会研修	平成29年12月2日（土）会場：郡山ヤクルト販売（株） 「音楽で育つ子どもの世界」のテーマで、郡山ヤクルト（株）保育スタッフの研修講師を務めた。
	福島県保育人材対策連絡会	対策委員 福島県こども未来局子育て支援課が立ち上げた同連絡会の委員として、対策委員会への出席（年4回のうち校務のため2回は欠席）、及び「福島県保育士養成校進学ガイドブック」の制作協力、「保育士フェア」の企画・開催等に協力した。
一 柳 智 子	わくわく子ども大学講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「頭脳型運動ゲーム『君はあやしい女子大生から逃げられるか』」の講師を務めた。
	民族藝術学会 理事	民族藝術学会東京事務所の年3回の理事会に出席し、定例研究会の企画運営を行った。さらに投稿論文の査読委員を務めた。
	比較舞踊学会 理事	比較舞踊学会誌『比較舞踊研究』の編集委員及び投稿論文の査読委員を務めた。
	白河市文化財保護審議会委員	白河市の文化財保護に関わる事業の審議に関わる活動を行った。審議内容は白河市内の有形文化財、無形文化財の両文化財の視察及び審議を行った。さらに、平成29年7月23日白河市大信地区「十日町提灯まつり」現地調査を実施した。
	郡山市教育委員会事務点検評価委員会委員	郡山市教育委員会の基本施策に基づき所掌する事業の執行状況について、報告を受け、さらに報告内容の点検及び評価をした。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	Lotus Academici College, Lotus Research Centre 特別講演会講師	平成30年2月19日 ネパール、パタン市 特別講演「ユネスコの文化遺産保護の理念とパタンの伝統舞踊」 現代のユネスコにおける文化遺産保護活動の理念から、パタン市における伝統的な仏教舞踊の保護について講演した。
富士盛 公 年	「白河っ子」子育て支援事業 教員免許更新講習	会議でアドバイザーとして市に助言を行う。 「教育相談」「保育相談支援」講師
小 林 徹	(委員等) 郡山市教育支援委員会委員  三春町子ども・子育て支援会議委員(会長)  福島県立郡山養護学校・福島県総合療育センター肢体不自由児後援会理事(研修会講師等)  平成29年度第6回福島県学童クラブ研究集会 分科会講師  平成29年度 第66回北海道・東北ブロック保育研究 大会 分科会助言者  平成29年度全日本私立幼稚園幼児教育研究機構免許 状更新講習、福島県私立幼稚園連合会10年経験者教 員研修会  平成29年度KGCサマーリフレッシュプログラム	郡山市立小・中学校に在学する心身に障がいをもつ児童生徒の教育的措置 や適正な就学について検討した。  「三春町子ども・子育て支援事業計画」を策定する会議で学識経験者として 会長を務めた。  肢体不自由児の教育や活動を支援するために組織された会に理事として 参加した。  平成29年5月28日(日)会場:郡山市民文化センター 講演「障害児とともに育ちあうための生活づくり」  平成29年7月11日(火)会場:郡山ユラックス熱海 第6分科会「子どものより良い育ちに向けた関係機関とのネットワーク」  平成29年7月27日(木)会場:清稜山倶楽部 講演「幼稚園をめぐる教育の最新事情 子どもの発達と新たな課題」  平成29年7月29日(土)・30日(日)会場:郡山女子大学 講演「生活・教育上の特別なニーズをもつ子どもの理解と支援」ほか

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	平成29年度 郡山市公立保育所所長会 講演会講師	平成29年8月17日(木) 会場：郡山市ニコニコ子ども館 講演「丁寧な保育を目指して - 専門性を高めるために -」
	福島県放課後児童支援員認定資格研修会	平成29年11月12日(日)・23日(木) 会場：郡山市労働福祉会館 講演「障がいのある子どもの理解」「障がいのある子どもの育成支援」
	平成29年度特別支援学級担当教員研修会 (学習指導)〈知的：相双地区〉講師	平成29年11月30日(木) 会場：福島県立相馬支援学校 講演「個に応じた学習指導の進め方や教材・教具の工夫」
	平成29年度福島県私立幼稚園・認定子ども園連合会 第4回新任教員研修会講師	平成29年12月26日(火) 会場：セレクトン福島 講演「障がい児の保育・教育」
	第34回(平成29年度)芳山教育研究発表会	平成30年1月26日(金) 会場：郡山市立芳山小学校 知的障がい学級および情緒障がい学級における研究授業の指導助言
早川 仁	平成29年度サマーリフレッシュプログラム (教員免許更新講習)	「創作イメージと描画表現力を育む」講師 平成29年8月2日(水)
	平成29年度わくわくこども大学講師	夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として講師を務めた。 平成29年8月6日(日)
	県南美術協会	福島県県南地区の美術振興活動
	市内保育士養成校と保育園担当者との情報交換会	主に実習・保育園就職に関連した情報交換と課題検討を行った。 平成29年12月14日(木)・平成30年1月17日(木)
草野 葉子	アカデミア・コンソーシアムふくしま 事業推進委員	福島県内の大学・短大等26機関による「大学間連携共同教育推進事業」 に関する事業の推進。
	郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会研修会	平成29年度郡山市私立幼稚園・認定子ども園連合会教員研修会第2回全 体研修会における、「木工製作」研修の講師。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日(日)会場:郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「世界にひとつだけの傘をつくろう!」の講師を務めた。
山上裕子	教員免許状更新講習	講師 「子どもの成長と体験」を講義した。
折笠国康	福島県立石川高等学校	進路指導講演会 講師 社会で伸びる力を伸ばす人の発想 平成29年6月16日 福島県立石川高等学校
	福島県保育協議会	北海道・東北ブロック保育研究大会 指導助言者 平成29年7月10、11日 ホテル華の湯
	公益社団法人福島県私立幼稚園・認定こども園連合会	H29年度免許状更新講習 講師 少子化の中の家庭支援・地域連携 平成29年7月26日 清稜山倶楽部
	福島県公立幼稚園 こども園教育研究会	H29年度県中ブロック協議会実技講習会 講師 本当の自尊感情の育成 平成29年8月3日 須賀川市大東公民館
	平成29年度サマーリフレッシュプログラム(教員免許更新講習)	「教員としての子ども観、教育観等についての省察」 講師 平成29年7月29日
	平成29年度わくわくこども大学	保護者向け講演会 講師 子どもの自尊感情の育成 平成29年8月6日
	株式会社東京リーガルマインド	H29年度福島県放課後児童支援員認定資格研修 講師 子どもの発達理解 平成29年11月12日 郡山市労働福祉会館

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	郡山女子大学附属幼稚園	保護者向け子育て講演会 講師 自尊感情の育成 平成30年1月31日 郡山女子大学附属幼稚園
永 瀬 悦 子	矢吹町教育委員会 三春町保健福祉課 福島県子育て支援課 平成29年度教員免許更新講習 わくわく子ども大学 郡山女子大学附属幼稚園父母会	矢吹町子ども・子育て会議の委員（副会長）を務めた。 中妻小学校において思春期保健講座の講師を務めた。 御木沢小学校において思春期保健講座の講師を務めた。 三春小学校において思春期保健講座の講師を務めた。 岩江小学校において思春期保健講座の講師を務めた。 福島県放課後児童支援員認定資格研修会において、テーマ「子どもの生活面における対応」の講師を務めた。 平成29年度教員免許更新講習において、テーマ「安全管理と応急処置」の講師を務めた。 平成29年8月6日 会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は運営スタッフを務めた。 郡山女子大学附属幼稚園の父母を対象とした講演会「秋から冬にかけて流行する感染症」の講師を務めた。
ポール・バーナムイ Paul Vonnahme	国際交流特別講座	English Lecturer : This is an adult education English class with two levels of students. Each class is 90 minutes with 15 total meetings for 22.5 hours in each full session. Students may prepare English topics or interact with teacher based topics. Conversation is the focus while allowing students to speak with other class members and a native speaker.

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	Japan Association for Language Teaching (JALT)	JALT Member : JALT takes pride in its international composition and in the worldwide forum it provides to exchange ideas and techniques in language education.
	日本タッチ&フラッグフットボール協会 (JTFA)	Coaching & Leadership : This a college sport that allows for games to be played with former college students. One of the most popular events of the year is played in Yokohama Bay Star Stadium. This is a national event with players throughout Japan participating in and beyond their college years.
伊 藤 哲 章	わくわく子ども大学実行委員会（運営委員長） 及び体験ブース 講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「たのしいりかじっけん」の講師を務めた。
柴 田 卓	一般社団法人 みどりの東北元気プログラム実行委員会（理事）  みやぎ野外教育ネットワーク（代表）  小野町 保育活動（自然保育）に係る 講師  国見町 未就学児体力向上支援事業 講師  平成29年度サマーリフレッシュプログラム（教員免許更新講習）講師  わくわく子ども大学実行委員会（副運営委員長）及び体験ブース 講師	心のケアを目的とした支援キャンププログラムの企画・運営  東北における野外教育指導者の研修および情報交換会の企画・運営  「おのまちわかばたんけんたい」の実施および評価（年7回）  体力向上プログラムの実施および評価（年6回）  「海外の保育事情～北欧3カ国の事例から学ぶ～」 平成29年7月30日  夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、副運営委員長として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース頭脳型運動ゲーム「君はあやしい女子大生から逃げきれるか」の講師を務めた。平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	郡山市私立幼稚園協会 研修会 講師	「運動遊び」 平成29年10月11日（水）
	福島大学 教員免許更新講習 講師	「自然の魅力を活かした保育技術」 平成29年10月22日（日）
猪股照子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日（日）会場 郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
仲西真美子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
星野朋子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、運営スタッフを務めた。
浅野章	福島県美術家連盟	会員 福島県の美術普及活動
	国画会	絵画部会員 出品作品の審査・講評、及び運営業務
	福島民報特別通信員	特別通信員（ふるさと記者） 美術関係の話題を中心として福島民報新聞社に情報を提供する。
	国画会絵画部チャリティー事業	出品協力 東京六本木国立新美術館に於いて第91回・国展絵画部でのチャリティー展に出品。小品を展示販売し、売上金全額をNHK厚生文化事業団に寄付した。
	福島県総合美術展	招待作家 ギャラリートーク及び高校生出品者作品の講評

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	海の日芸術祭実行委員会	実行委員 出品作品の審査・講評、及び運営業務 青美術館に於いてパネルディスカッション（演題・福島から世界へ）
	Moa美術館郡山児童作品展	出品作品審査・講評
	郡山市総合美術展	招待作家・審査員
	郡山市景観づくり審議会	委員 色彩の学識経験者として郡山市の景観について審議およびアドバイスをした。
齊 藤 弘 久	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休み子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「プリントハムハム」の講師を務めた。
	郡山市公民館 ワークショップ講師	平成29年10月2日（木）会場：郡山市公民館 工作室 郡山市民20名を対象としたワークショップを行った。 当日は、テーマ「彫らない木版画」の講師を務めた。
小 松 太 志	平成28年度サマーリフレッシュプログラム （教員免許更新講習）	講師「デザインの指導法及び映像表現」の映像表現分野を担当。
	JA福島さくらファンづくりプロジェクト	JA福島さくらのイメージキャラクター開発支援を実施。
黒 沼 令	岩手県高等学校文化連盟	楯（連盟賞、テーマ賞、ポスター賞） トロフィ（功労賞、連盟賞）の原型制作
磯 部 哲 夫	会津演奏家連盟	副代表 「スプリングコンサート」、「サマーコンサート」、音楽鑑賞教室の企画、連盟の運営に携わった。
	全日本音楽教育研究会	会員 平成29年度全日本音楽教育研究会全国大会（総合大会）沖縄大会において「ディプロマ・ポリシーを基にした実技科目におけるルーブリック評価」の口頭発表を行った。

氏 名	審 議 会 ・ 委 員 会 等 名	職 務 ・ 活 動 内 容
	全国大学音楽教育学会	会員 幼児音楽教育研究を行った。
	福島県音楽協会	会員 コンサートの企画を担当した。
	高声会	会員 歌唱研究を行った。
	KGCサマーリフレッシュプログラム（教員免許状更新講習）	講師 「音楽科指導の工夫～音楽を形づくっている要素と音楽レトリック～」、「教員のための歌唱表現講座～発声の基本と応用、歌唱指導のポイント～」の講義を担当した。
	第2回わくわく子ども大学 in郡山女子大学	運営スタッフ 「オリジナル楽器をつくろう」の報告書を作成した。
	郡山女声合唱団	ヴォイストレーナー 声種別によるヴォイストレーニングを行った。
	会津若松鶴城ライオンズクラブ結成50周年記念事業	総合プロデューサー・総合演出 会津若松鶴城ライオンズクラブ結成50周年記念事業「バルトの楽園上映会 第九演奏会」の総合プロデューサー・総合演出を担当した。
	会津若松市戊辰150周年記念事業 オペラ「白虎」	実行委員 オペラ「白虎」上演に向けて運営を担当した。
深 谷 登喜子	須賀川音楽協会	会長。須賀川の音楽文化向上を図るための団体。
	須賀川市文化センター運営委員会	副会長。文化センター運営のための諮問機関。
	郡山女声合唱団	ピアニスト。一般の合唱団、演奏会、コンクール参加等の活動。
	須賀川神炊館神社神楽殿運営委員会	運営委員。神楽殿の運営。
横 溝 聡 子	第27回東北青少年音楽コンクール宮城県南地区審査員	平成29年6月4日（日）会場：仙南芸術文化ホール 宮城県南地区リトルピアニストコース予選会において審査員を務めた。
	わくわく子ども大学実行委員会（実行委員） 及び体験ブース 講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「オリジナル楽器をつくろう」の講師を務めた。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	第27回日本クラシック音楽コンクール福島予選 ピアノ部門 審査員	平成29年8月12日（土）会場：郡山市中央公民館（多目的ホール） 福島予選ピアノ部門において審査員を務めた。
南川 肇	わくわく子ども大学実行委員会（実行委員）及び体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「オリジナル楽器をつくろう」の講師を務めた。
	わくわく子ども大学 体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どものための教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は、体験ブース「オリジナル楽器をつくろう」の講師を務めた。
野澤 謙治	福島県立博物館展示収集委員会	県立博物館の展示収集について審議
	福島県の森林文化に係わる調査検討委員会	県の森林文化の保存と活用についての審議
	須賀川市歴史文化基本構想策定委員会	市の文化財の保存と活用についての審議
	石川町歴史文化基本構想策定委員会	町の文化財の保存と活用についての審議
	須賀川市文化財審議委員会	市の文化財の指定について審議
	あさかの学園大学	郡山市の生涯学習講座の講師
二宮 和比古	白河市立図書館協議委員	
齋藤 美保子	福島県文化振興事業団評議委員会	委員として事業団の運営を評議
	福島県立美術館運営協議会	委員として美術館の運営を協議
	服飾美学会委員会	委員として学会運営と企画の協議及び作業
何 燕 生 (福島寅太郎)	曹洞宗福聚院『正法眼蔵』を読む会	毎月1回市民や檀家さんを対象に、道元の『正法眼蔵』を読むこと。震災後、古典に触れたいという声に応えるための企画。

氏名	審議会・委員会等名	職務・活動内容
	日本宗教学会機関誌『宗教研究』編集委員	投稿論文の査読を行う仕事。学会活動の1つ。
	印度学宗教学会常任理事	同学会の運営および企画に当たる。
	印度学宗教学会機関誌『論集』編集委員	投稿論文の査読を行う仕事。学会活動の1つ。
桑野 聡	郡山市図書館協議会	議長・委員として郡山市内の図書館運営を協議し、市民の読書環境整備を支援している。
	福島放送番組審議会	副委員長・審議委員として福島放送（KFB）自社制作番組を合評し、番組の質的向上を支援している。
會田 容弘	和台遺跡調査指導委員会委員	福島市国指定史跡和台遺跡の史跡指定範囲を確定するために実施する発掘調査を学術的見地から指導を行う。
仲田 佐和子	わくわく子ども大学 運営スタッフ	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。当日は運営スタッフを務めた。
佐藤 愛未	わくわく子ども大学実行委員会（実行委員） 及び体験ブース講師	平成29年8月6日（日）会場：郡山女子大学 夏休みの子どもたちの教育支援と地域貢献を目的として開催した。実行委員会では、実行委員として企画運営にあたった。また、当日は体験ブース「何がかいてあるのかな？ “たくほん”体験やってみよう！」の講師を務めた。

